

名古屋の

防火



&

防災



はじめに

名古屋市は、これまで多くの災害を経験してきました。昭和34年の伊勢湾台風では、市内南部を中心に多数の死者・行方不明者を出し、平成12年9月の東海豪雨水害や平成20年8月末の集中豪雨、平成23年9月の台風第15号でも、多くの地域で深刻な浸水被害が発生しています。地震の関係では、平成14年4月に東海地震の「地域防災対策強化地域」に、平成15年12月には東南海・南海地震に係る「地震防災対策推進地域」に、平成26年3月には「南海トラフ地震防災対策推進地域」に指定されるなど、大規模な地震がいつ来てもおかしくないとされています。そうした中で、本市では、これまで雨水貯留施設の建設や公共施設の耐震化などのほか、地域住民に対する防火・防災意識の啓発を継続的に行うなど、ハードとソフトの両面で防火・防災対策に取り組んできました。また、災害が起こるたびに直面するのが、「行政の力には限界がある」という避けることのできない事実です。実際に、平成7年1月に発生した「阪神・淡路大震災」では、救助された人の約8割が、地域住民の手によるものであったとも言われています。さらに、平成23年3月に発生した「東日本大震災」では、地震で発生した津波により、行政機能そのものも大きな打撃を受けました。防火・防災は、「自分の身は、自分で守る」という「自助」と、「自分たちのまちは、自分たちで守る」という「共助」の精神が基本であり、最も大切なことです。皆さん一人ひとりが防火・防災について考え、それを地域に広げていくことが、災害に強いまちづくりの第一歩であると考えています。地震や風水害、火災予防などの基本的な知識や技術についてとりまとめた本誌が、その一助となれば幸いです。

名古屋市消防局

目次

▶ 進めよう！ 防災安心まちづくり運動……………	2
▶ 自助 [地震編] ……………	5
▶ 自助 [風水害編] ……………	25
▶ 共助 [自主防災組織編] ……………	32
▶ 火災予防編……………	40
▶ 応急手当編……………	47
▶ 情報編……………	50

進めよう！防災安心まちづくり運動

防災安心まちづくり運動とは？

地震などの大規模災害に備えて、市民一人ひとりが地域で連帯感をもって「自分達のまちは自分達で守る」ことができるよう、防火・防災意識の啓発や自主防災訓練など地域の災害対応力の向上を図る活動に、地域ぐるみで取り組んでいただくことを、名古屋市では『防災安心まちづくり運動』と呼んでいます。

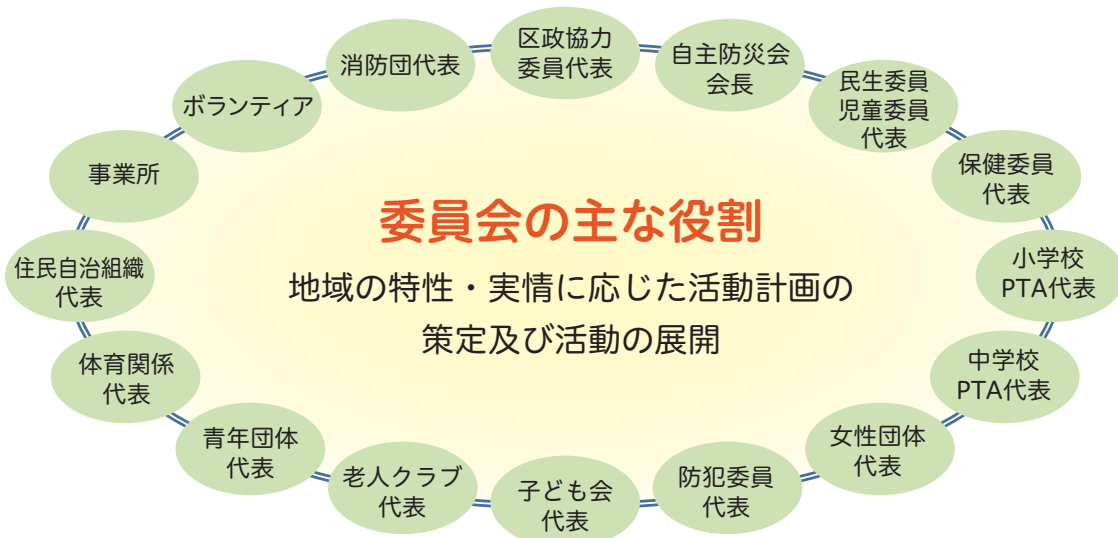
(安心・安全で快適なまちづくりなごや条例)



運動を推進する地域の組織は？

「学区防災安心まちづくり委員会」が運動の中心となる組織です。この委員会は、平常時に地域の特性・実情に応じた防火・防災活動を地域全体で行うために、活動内容や方針などを企画・立案・調整するリーダー的な組織で、小学校区ごとに、地域の各種団体の代表者などで組織されています。

「学区防災安心まちづくり委員会」の構成例



どのような活動をするの? (※各対応ページとリンク)

防災安心まちづくり運動は、地域の方々が行う防火・防災に関するすべての取り組みを対象としており、一般的には、行政と連携を取りながら、地域ぐるみで主体的に活動を行います。

主な活動

個人・家庭における防火・防災対策

- 備蓄品と非常持出品 →P14
- 家具の転倒防止対策や住宅の耐震対策 →P16
- 住宅用消火器や住宅用火災警報器の設置 →P40



自主防災活動

- 自主防災訓練 →P32
- 安否確認 →P35
- 現地本部運営 →P36
- 初期消火、救出救護 →P37
- 避難誘導、防災計画・防災マップなどの作成 →P38



地域と事業所の支援協力体制

- 地域防災協力事業所表示制度 →P4

その他(防火・防災活動の普及啓発・各種行事への参加など)

- 放火されない環境づくり →P43
- 火災予防運動
- 防災の日・防災週間
- 地区防災カルテの話し合い
- 各区総合防災訓練
- 避難所運営訓練
- 防火防災イベント

地域と事業所の支援協力体制

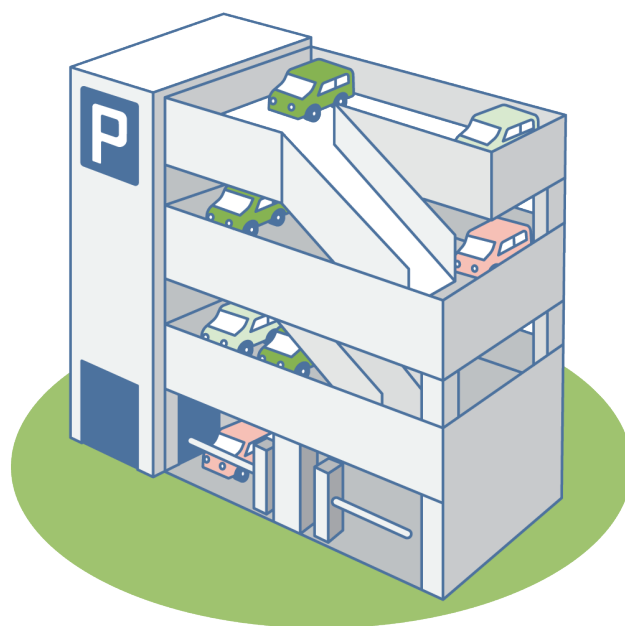
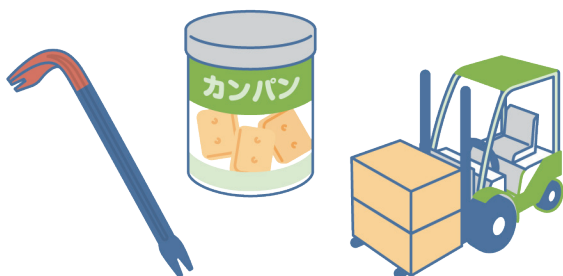
地震や台風などの大規模な災害が発生した際に力を発揮するのが、事業所が保有しているさまざまな資器材や敷地、人的協力などです。

現在、「防災安心まちづくり運動」の一環として、市内の事業所と地域が双方の合意のもと大規模な災害時の支援協力に関して覚書の締結や事業所と地域の合同訓練が行われています。

支援協力に際して、新たに資器材を準備する必要はありません。事業所の方が現在所有している資器材や敷地などで地域に協力できることがあればぜひご検討いただき、地域貢献の一つとして取り組んでいただければ幸いです。

《支援事例》

駐車場を一時的な避難場所として提供
救出資器材としてジャッキやバールの貸出
備蓄食料品や飲料水、毛布を提供
フォークリフトの貸出（運転手を含む）



地域防災協力



事業所名□□□□



〇〇学区防災安心まちづくり委員会

防災安心まちづくり NAGOYA SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
令和 年 月 日 交付

地域防災協力事業所表示制度

災害時の地域への支援協力についての覚書を書面により地域と締結していただいた事業主（地域防災協力事業所）の皆様に対して、地域の防災に関して地域貢献をしていることを示す「地域防災協力事業所表示証」を交付します。

※表示証の交付については、各事業主の皆様から管轄の消防署長へ申請していただく必要があります。

寸法：たて26.4×よこ18.6cm（JIS-B5サイズ程度）

自助 [地震編]

地震の知識

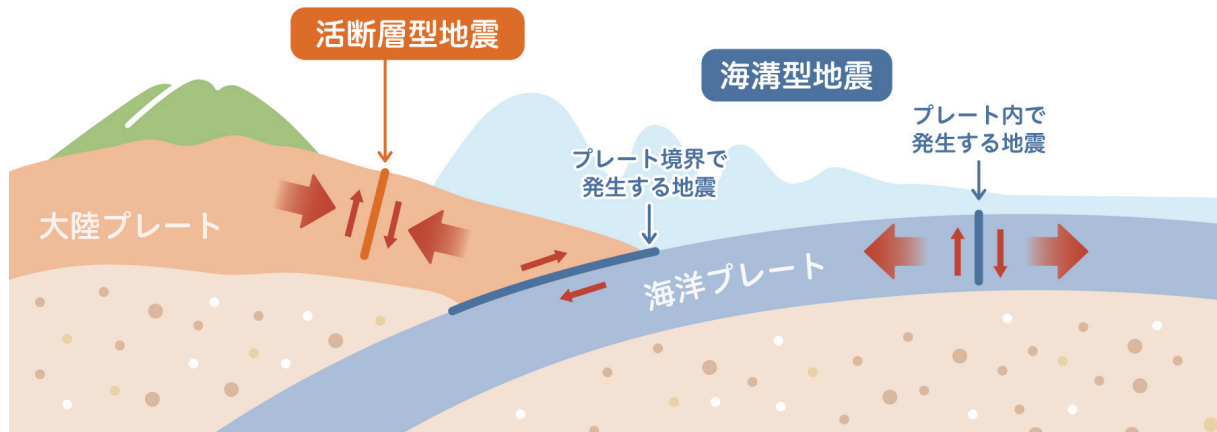
◆ 地震のメカニズム

地震は地下で起きる岩盤の「ずれ」により発生する現象です。日本列島周辺で発生する地震のタイプはプレート境界で発生する地震(海溝型地震)と陸地の浅い地震(活断層型地震)があります。

日本列島は4つのプレートの境界にあり海のプレートが年間数cmずつ陸のプレートの下にもぐり込んでいきます。陸のプレートの先端が海のプレートの動きにつれて引きずり込まれ、ひずみが生じ、ひずみに耐えられなくなった陸のプレートが元の状態に戻ろうとして、大きく跳ね上がります。これが海溝型地震のメカニズムです。津波発生の危険性があり、東日本大震災を引き起こした東北地方太平洋沖地震や、近い将来発生するとされている南海トラフ地震がこれにあたります。



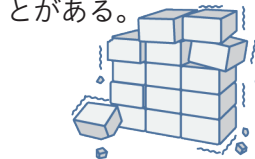
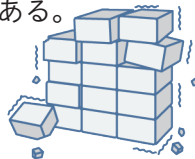

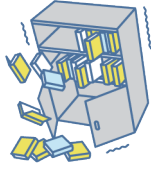
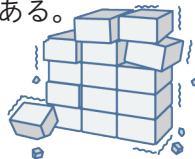
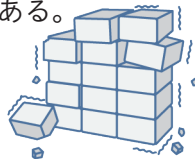


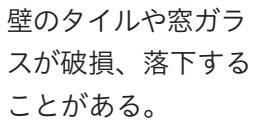



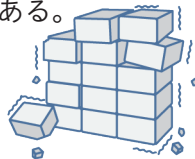



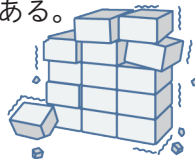



また、プレート内部に力が加わって発生するプレート内の地震には、沈み込む海のプレート内の地震と陸の浅いところで発生する地震(陸域の浅い地震：活断層型地震)があり、陸域の浅い地震は居住地域に近いところで発生するため大きな被害が度々発生しています。阪神・淡路大震災を引き起こした兵庫県南部地震がこれにあたります。



◆ 震度とマグニチュード

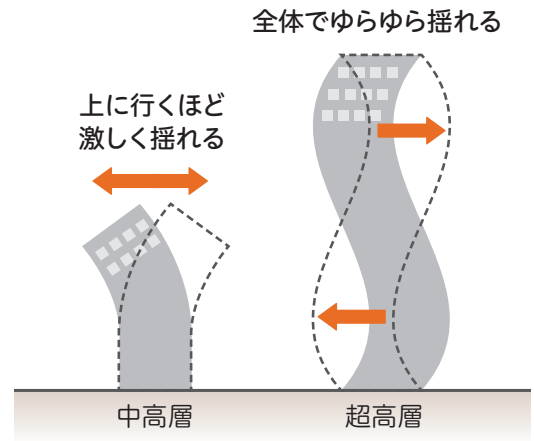
震度は地震による揺れの強さです。気象庁は計測震度計によって測定された震度を「震度0」から「震度7」までの10階級で発表しています。一方、マグニチュード(M)は震源そのもののエネルギーの大きさを表し、値が1違うとエネルギーは約32倍、2違うと約1000倍となります。

震度階級	人の体感・行動	固定していない家具の状況	屋外の状況	耐震性の低い木造建物
5弱	物につかまると感じる。 	移動することがある。 	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。 	軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。 
5強	物につかまらなると歩くことが難しい。 	倒れることがある。 	補強されていないブロック塀が崩れることがある。 	ひび割れ・亀裂がみられることがある。 
6弱	立っていることが困難になる。 	大半が移動し、倒れるものもある。 	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 	倒れるものもある。 
6強	立っていられず、はわないと動けない。飛ばされることもある。 	ほとんどが移動し、倒れるものが増える。 	補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。 	傾くものや、倒れるものが増える。 
7		ほとんどが移動したり倒れたりし、飛ばれることもある。 	補強されているブロック塀も破損するものがある。 	傾くものや、倒れるものが増える。 

「気象庁震度階級関連解説表」より抜粋

◆ 長周期地震動

大きな地震で生じる、周期(揺れが1往復するのにかかる時間)が長い大きな揺れのことを長周期地震動といいます。長周期地震動により、高層ビルは大きく長く揺れ続けることがあります。



◆ 長周期地震動に関する観測情報

気象庁は長周期地震動による高層ビル内での被害の発生可能性等についてお知らせする「長周期地震動に関する観測情報」をホームページに掲載しています。

◆ 長周期地震動階級

地震の際に、高層ビル内にいる人の体感・行動、家具の転倒や移動など室内の状態の程度に応じて「長周期地震動階級」は分類されています。

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況
階級 1	室内にいるほとんどの人が揺れを感じます。驚く人もいます。	ブラインドなどつり下げ式の物が大きく揺れます。
階級 2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じます。物につかまらないと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じます。	キャスター付き什器 <small>じゅうき</small> がわずかに動きます。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがあります。
階級 3	立っていることが困難になります。	キャスター付き什器 <small>じゅうき</small> が大きく動きます。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがあります。
階級 4	立っていることができず、はわないと動くことができません。揺れ <small>ほんろう</small> に翻弄 <small>ほんろう</small> されます。	キャスター付き什器 <small>じゅうき</small> が大きく動き、転倒するものがあります。固定していない家具の大半が移動し、倒れる物もあります。

◆ 緊急地震速報

緊急地震速報は、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度、長周期地震動階級を予想し、可能な限り素早く知らせる情報のことです。テレビやインターネット、ラジオなどでお知らせします。

◆ 緊急地震速報の仕組み

地震が発生すると、震源からは揺れが波となって地面を伝わっていきます。(地震波)
地震波には小さな揺れを起こすP波と、その後大きな揺れを起こすS波がやってきます。この地震波の伝わる速度の差を利用して、先に伝わる速度の差を利用して、先に伝わるP波を検知した段階でS波が伝わってくる前に危険が迫っていることを知らせることが可能になります。

◆ 緊急地震速報の種類

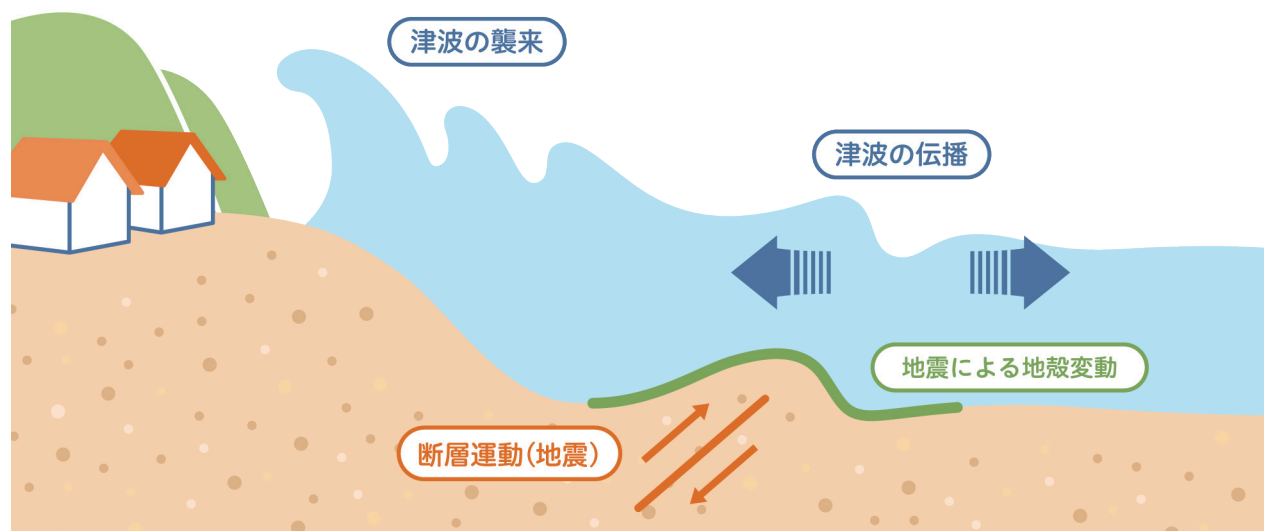
緊急地震速報には、大きく分けて「警報」、「予報」の2種類があります。また、「警報」のうち、震度6弱以上または長周期地震動階級4の大きさの地震動が予想される場合を「特別警報」に位置付けています。

区分	情報発表の名称	内容
地震動予報	緊急地震速報 (予報)	最大震度3以上または最大長周期地震動階級が1以上またはマグニチュードが3.5以上等と予想されたとき
地震動警報	緊急地震速報 または 緊急地震速報(警報)	最大震度5弱以上または最大長周期地震動階級が3以上の揺れが予想されたとき このうち、震度6弱以上または長周期地震動階級4の揺れが予想される場合は特別警報
地震動特別警報		

津波の知識

◆ 津波のメカニズム

海底の浅い場所で地震が発生すると、断層運動により海底の隆起や沈降が起こります。これに伴って海面が変動し、大きな波となって四方八方に伝播するものが津波です。津波は、水深が深いほど早く伝わりますが、水深が浅くなるほど速度が遅くなるため、減速した波の前方部に後方部が追いつくことで、波高が高くなる性質があります。いずれもすさまじい勢いで陸上に流れ込み続け、人が走って逃げきれものではありません。



◆ 津波警報・注意報

気象庁は津波による災害の発生が予想される場合、地震発生後約3分を目標に大津波警報、津波警報または津波注意報を発表します。

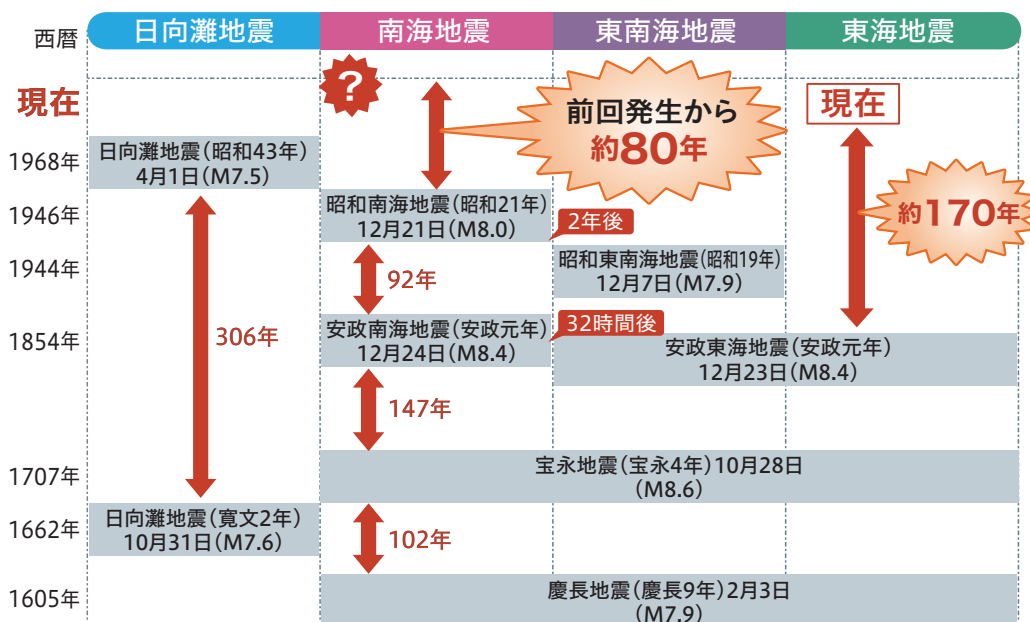
警報・注意報の分類	発表される津波の高さ		津波高さ 予想の区分
	数値	大きな地震の場合	
大津波警報	10m超	巨大	10m超
	10m		5m～10m
	5m		3m～5m
津波警報	3m	高い	1m～3m
津波注意報	1m	(なし)	20cm～1m

南海トラフ地震について

◆ 南海トラフ地震と過去の災害

南海トラフ地震は、静岡県の駿河湾から宮崎県の日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として過去に大きな被害をもたらしてきた大規模地震です。これまでおよそ100～150年間隔で繰り返し発生しており前回の南海トラフ地震（昭和東南海地震（1944年）及び昭和南海地震（1946年））が発生してから80年以上が経過しており次の南海トラフ地震発生切迫性が高まっています。

◆ 南海トラフ地震の想定震源域と地震活動の周期



「地震調査研究推進本部 南海トラフの地震活動の長期評価（第二版）について」をもとに作成

◆ 名古屋市の被害想定

南海トラフ地震による被害想定として、平成26年に本市が発表したあらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震が起きた場合の被害をまとめました。

死者は最大約6,700人、建物全壊・焼失棟数は約66,000棟と予測されています。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

最大震度7の地震が発生

最高津波水位 3.6m



津波による建物全壊棟数 約7,500棟



強い揺れによる建物全壊棟数 約34,000棟



地震火災による建物焼失棟数 約21,000棟



液状化による建物全壊棟数 約2,800棟



建物倒壊等による死者数 約2,100人



火災による死者数 約300人




津波による死者数 約4,400人



帰宅困難者数 約151,000人



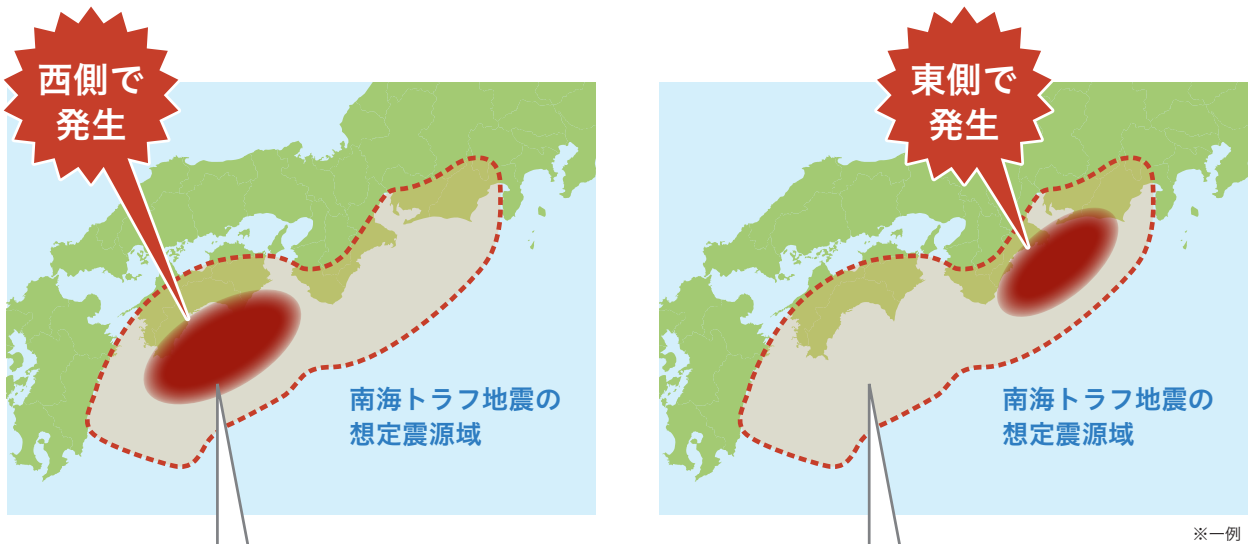
避難者数 約373,000人




◆ 南海トラフ地震臨時情報とは

南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まった（巨大地震警戒：百倍程度、巨大地震注意：数倍程度）と評価された場合に、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。

想定震源域の広い範囲で一度に割れる場合、東側と西側が別々に割れる場合もあり、これらが**時間差で発生**することもあります。



※一例



南海トラフの東側で地震が発生した**約32時間後**に、西側でも地震が発生



南海トラフの東側で地震が発生した**約2年後**に、西側でも地震が発生

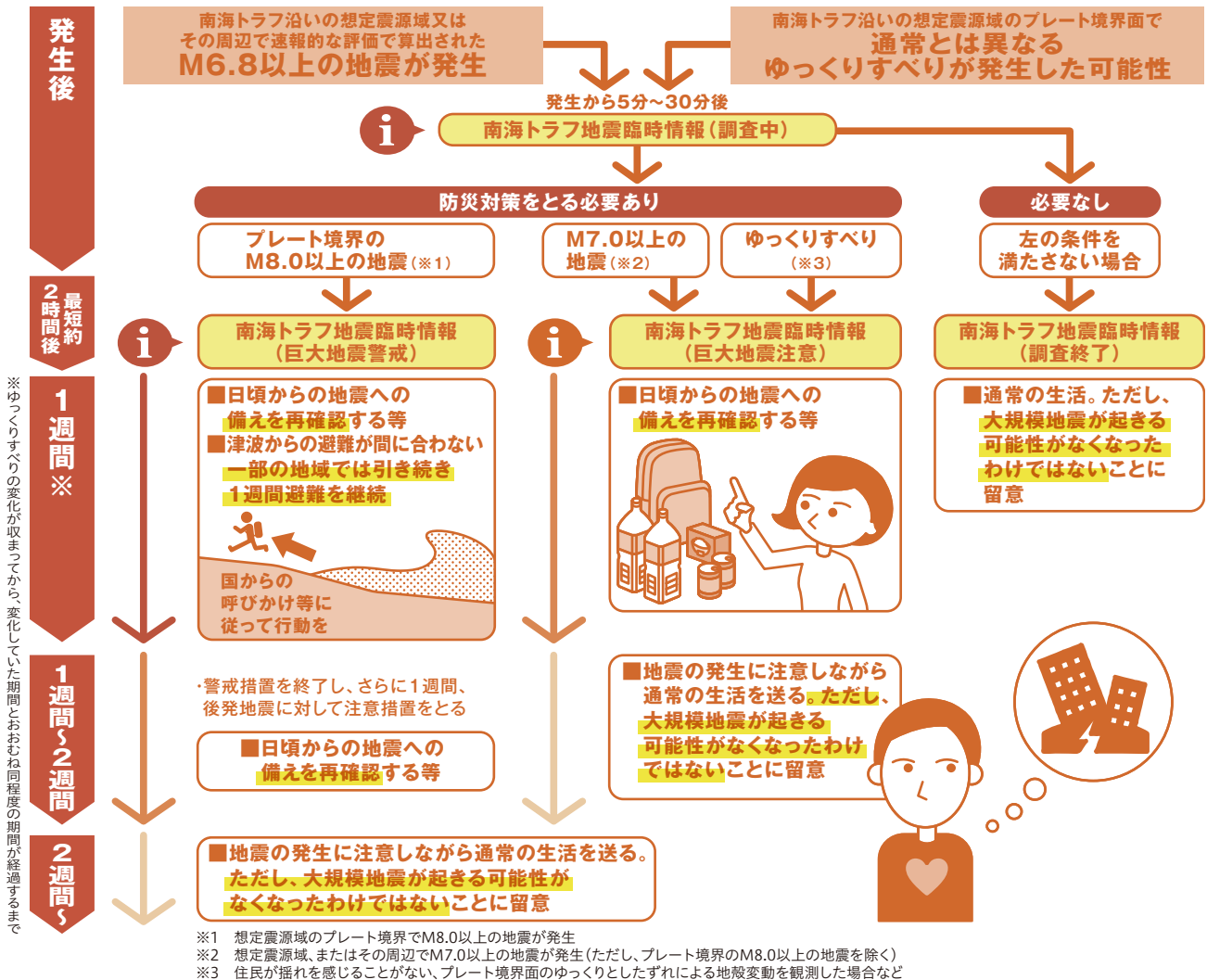
※Mはモーメントマグニチュード 西側で先に大規模地震が発生する可能性もあります

過去の事例のような時間差で発生する大規模地震に対して、備える必要があります。

◆ 南海トラフ地震臨時情報が発表されたら

国や愛知県・名古屋市などからの呼びかけに応じて、避難等の防災対応を準備、開始してください。地震発生後の浸水により避難が間に合わないおそれのある地域（事前避難対象地域）では、1週間の避難が必要となります。

地震発生後の防災対応の流れ



◆ 名古屋市の事前避難対象地域

名古屋市では、「津波到達前に、地震動に伴う堤防沈下の影響により、概ね地震発生から30分以内に30センチメートル以上の浸水が生じる地域」を事前避難対象地域としています。該当する地域では、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）」が発表された場合には、1週間程度、事前避難対象地域外への事前避難を行いましょう。

区	名古屋市の事前避難対象地域（対象地域を含む学区）
熱田	千年
中川	正色、五反田、戸田、春田、豊治、西前田
港	東築地、港西、当知、高木、神宮寺、南陽、西福田、福田
南	豊田、道徳、白水、千鳥、柴田
緑	大高

こちらからアクセス



名古屋市 事前避難対象地域

検索

名古屋市における事前避難対象地域の詳細図は、HPからご確認ください

いざという時のため備える

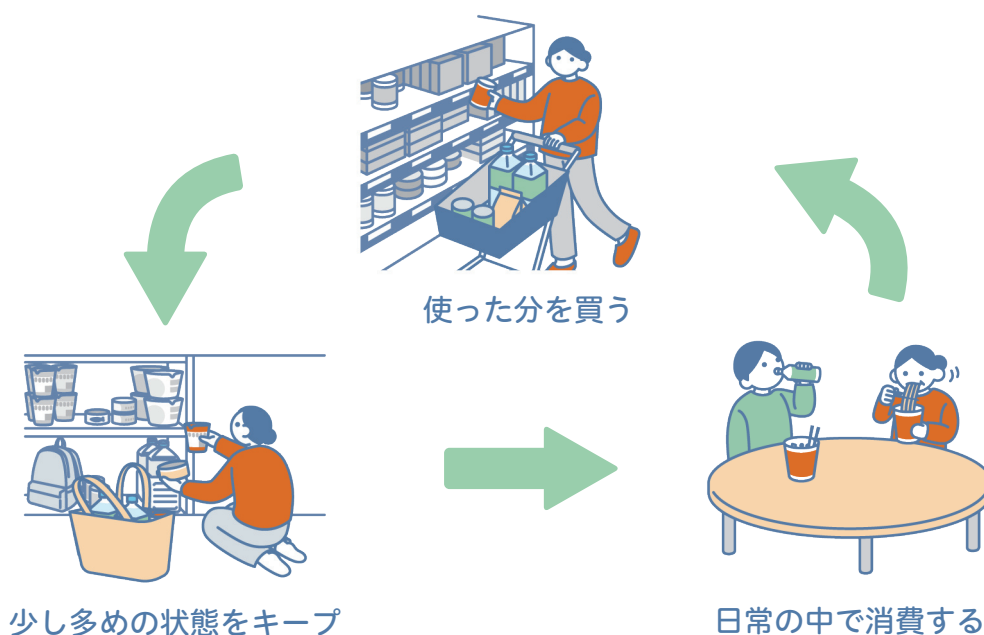
◆ 物の備え

大災害が発生すると電気やガス、水道などのライフラインの被害や物資の供給が止まってしまうことが想定されます。特に食料品や生活必需品は家族構成を考えて必要な備蓄をしておきましょう。



◆ ローリングストックとは

備蓄の必要性を感じていても、継続した食料の管理は難しいものです。普段から食べているものを少し多めに買って置き、使った分だけ買い足し、常に一定量の食料を家に備蓄しておくことで、無駄にすることなく効率よく備えることができます。



ローリングストックは食料だけでなく、日常使いできる生活用品にも応用できます。ウェットティッシュやカセットボンベ、乾電池などは、常に一定の量を家庭に置いておくようにするとよいでしょう。

◆ 備蓄品と非常持出品

備蓄品は3日分程度用意し、可能であれば7日分程度備えておくにより安心です。また、自宅が被災した場合は、安全な場所に避難し、そこで避難生活を送ることになります。命を守るための最低限のものを3日分程度、リュックサック等に詰めておき、いつでも持ち出せるようにしましょう。

◆ 災害時に必要な物

以下のリストは、最小限備えておくべきものの例示です。各家庭が抱える環境はさまざまで、それぞれ自分にとって必要な物を考えて備えておく必要があります。

飲料水・食料品

缶詰などは加熱する必要がなく、野菜ジュースは不足しがちなビタミンやミネラルを補うことができます。栄養バランスを効率よく摂取できることが理想です。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 飲料水
一人1日3ℓが目安です | <input type="checkbox"/> 加熱せず食べられるもの
(チーズ・プロテインバー) |
| <input type="checkbox"/> 野菜ジュース | <input type="checkbox"/> 菓子類(チョコレート・飴) |
| <input type="checkbox"/> 主食(レトルトご飯、即席麺) | <input type="checkbox"/> 栄養補助食品(サプリメント) |
| <input type="checkbox"/> 主菜(レトルト食品) | |
| <input type="checkbox"/> 缶詰(魚・野菜・果物) | |



生活用品

生活スタイルに合わせて、必要な物を検討しましょう。

救急・衛生用品

- | | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 救急医療品 | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ | <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー |
| <input type="checkbox"/> 常備薬・お薬手帳 | <input type="checkbox"/> マスク | <input type="checkbox"/> トイレットペーパー |
| <input type="checkbox"/> □内洗浄液 | <input type="checkbox"/> アルコールスプレー | <input type="checkbox"/> 簡易トイレ |

日用品

- | | |
|--------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> カセットコンロ | <input type="checkbox"/> カセットボンベ |
| <input type="checkbox"/> ラップ□ポリ袋 | <input type="checkbox"/> ビニール手袋 |
| <input type="checkbox"/> アルミホイル□懐中電灯 | <input type="checkbox"/> 乾電池 |
| <input type="checkbox"/> ライター | <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー |
| <input type="checkbox"/> 充電式のラジオ | <input type="checkbox"/> 小型ナイフ(マルチツール) |
| <input type="checkbox"/> タオル | <input type="checkbox"/> 軍手 |



家族構成に応じた必要な物

女性用品

- 生理用品
- 化粧品

乳幼児用品

- 母子手帳
- 紙おむつ
- ミルク・離乳食
- おしりふき

高齢者用品

- 紙おむつ
- 介護食
- 入れ歯
- 補聴器

ペット用品

- ペットフード・容器
- 水
- キャリーケース・リード
- トイレ用品



◆ 室内・室外の備え

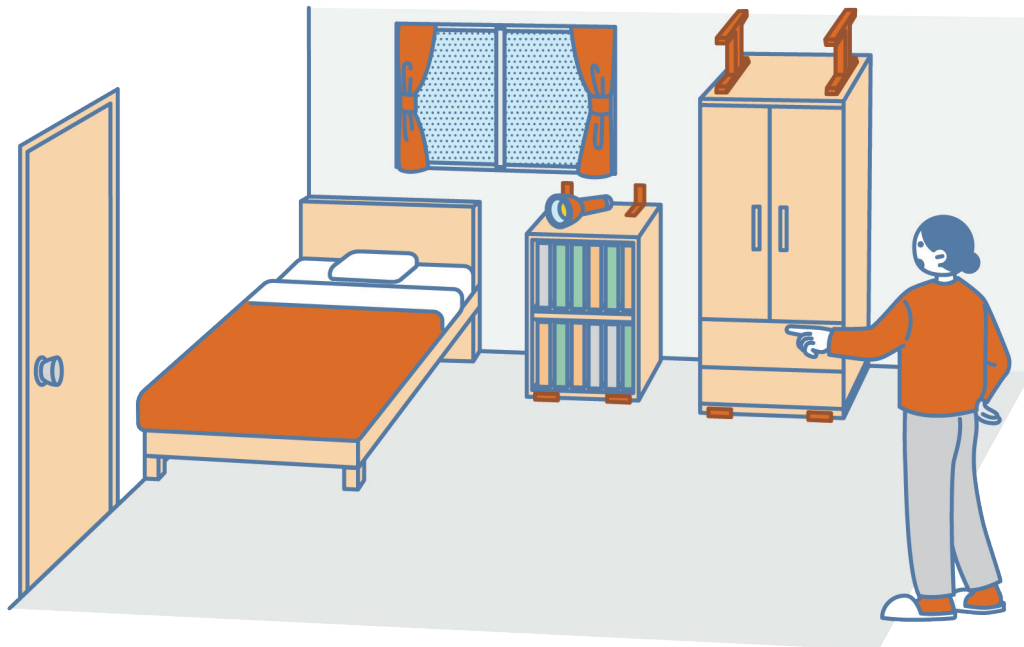
阪神・淡路大震災では亡くなった方の約8割が家屋の倒壊や、家具の転倒による圧迫死・窒息死とされています。

地震の揺れによる建物の被害から、自分や家族を守るため部屋の中や家の周りの安全を確保しましょう。

◆ レイアウトと家具の工夫

就寝時は無防備なので、まずは寝室の家具の転倒防止対策をしましょう。

家具等の移動や転倒、収納物の散乱によって避難路が妨げられることがあります。部屋の出入口付近の家具等の高さやレイアウトの見直しをしましょう。



□ ドア

出入口をふさがないように家具を配置しましょう。

□ ベッド

就寝位置に家具が倒れてこないようにしましょう
懐中電灯などは手の届くところに置いておきましょう。

□ 窓ガラス

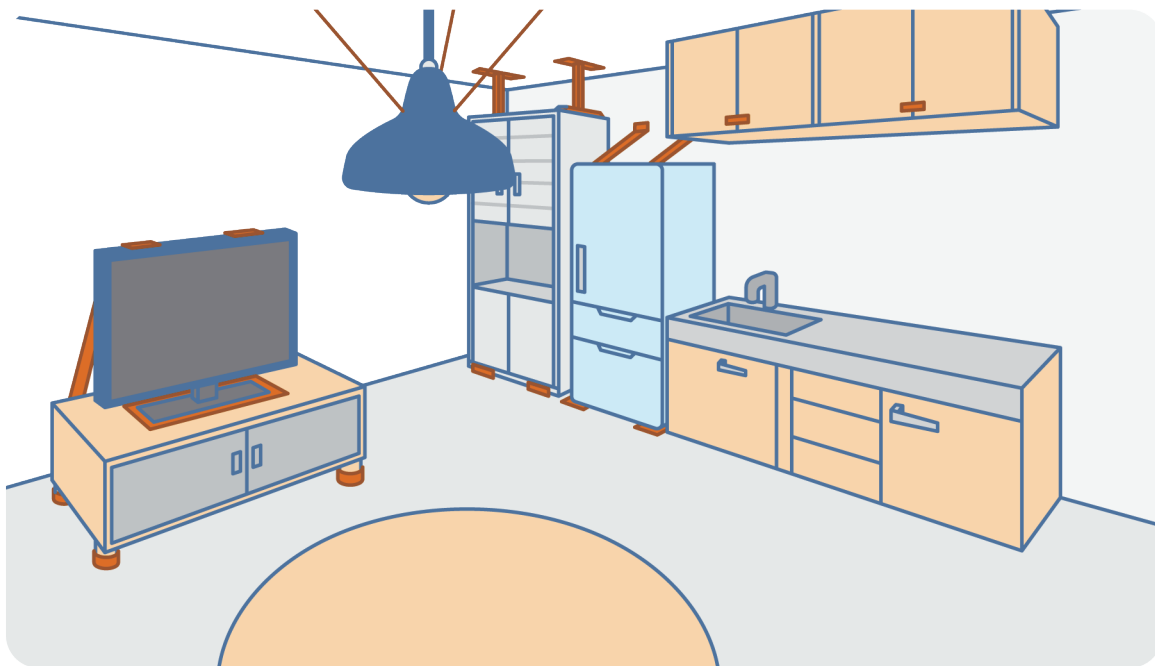
飛散防止フィルムを貼りましょう。

□ 収納ボックス

配置する家具は背が低いものに。収納物は重いものを下に収納し、重心を下げることで倒れにくくします。

□ タンス・クローゼット

上下連結するものは金具等で固定します。
L字金具や突っ張り棒で壁や天井に固定します。
ストッパーを併用するとより効果的です。



□冷蔵庫

ベルト等で壁と固定する。

□テレビ

ベルトや粘着マットで固定する。

□食器棚

L字金具等で固定する。食器のすべり止めをつける。

□照明

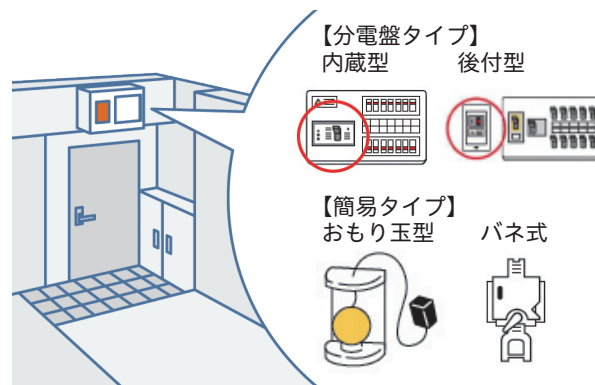
吊り下げ式の照明器具はチェーン等で固定する。

□吊戸棚

収納物が飛び出さないよう扉にラッチ錠をつける。

感震ブレーカーとは？

「感震ブレーカー」とは、大きな揺れを感知して電気を自動的に遮断する器具です。電気が復旧した際、倒れた電気器具や破損した電気配線に通電することで火災が発生するおそれがあります。近年の大地震で発生した火災の半数以上が電気に起因する火災（電気火災）と言われています。感震ブレーカーの設置により電気火災を減らすことができます。

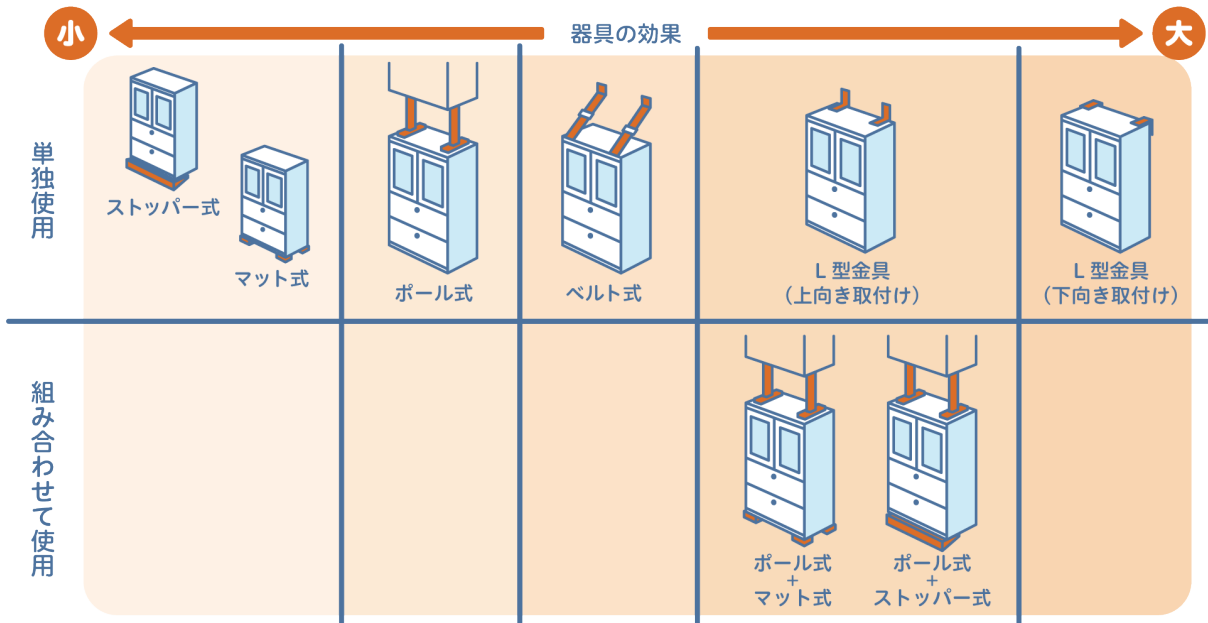


感震ブレーカーの
助成を希望する方はこちら



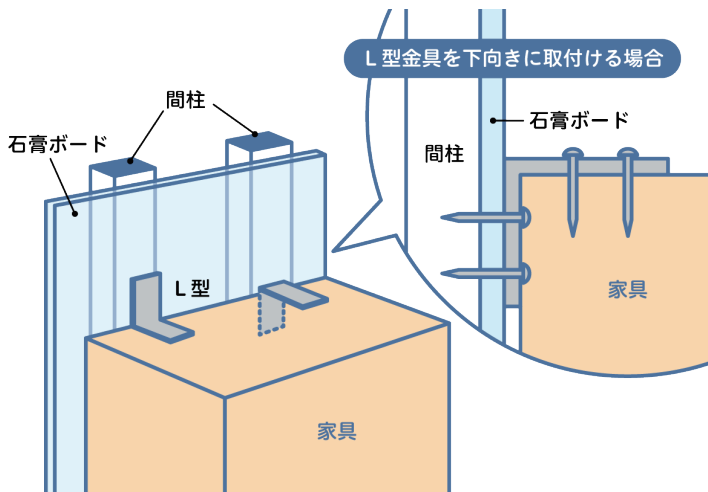
◆ 家具転倒防止対策のポイント

転倒防止器具の種類と効果をまとめました。



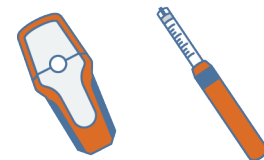
上記は一例になりますが、L字金具を壁に固定する方法が最も効果が大きいとされています。L字金具を用いてねじによる固定を行う場合、壁下地の柱、間柱、胴縁等に行います。

◆ 壁に固定する場合



壁にL型金具を用いて固定するには、**間柱など壁の下地材に取り付けることが大切です。**

下地材の位置は、下地探知用センサー等の機器、市販の専用プッシュピンといった器具、音による打診により判断できます。



下地探知用センサー・プッシュピン

間柱の探し方の例



センサーによる確認方法
下地探知センサーは、間柱の端を見つけるものです。両側から探知し、間柱の位置を音と光で知らせます。

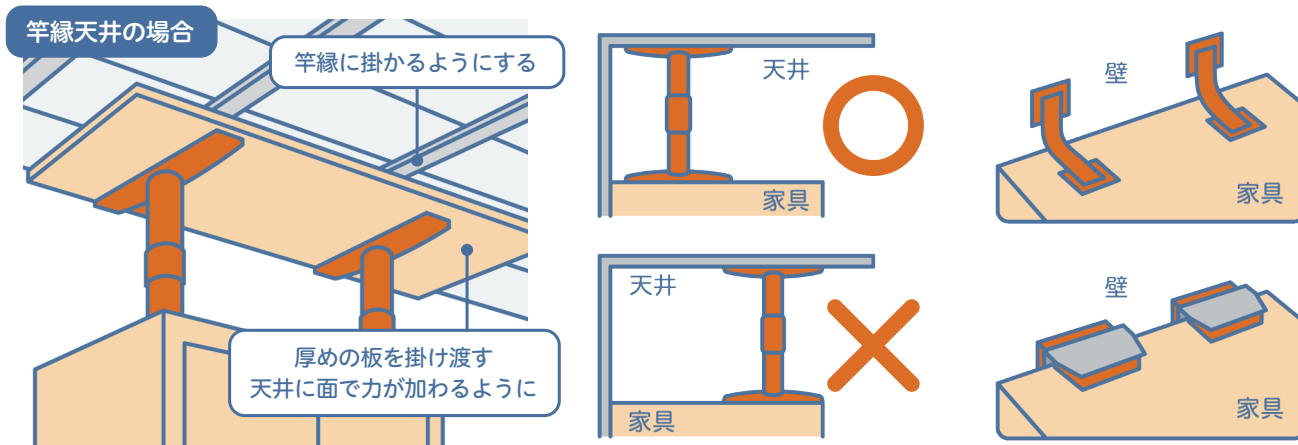


ドライバー等で打診

◆ ポール式、粘着式、ストッパー式器具の取付け

壁や柱にねじ止めできない場合、家具と天井の間にポール式器具や粘着式器具を使用して固定する方法があります。

ストッパー式や、マット式は単独使用では効果は小さいですが、ポール式等と組み合わせることにより効果は大きくなります。



天井に十分な強度がない場合、家具の幅以上の板で補強する。

前方（部屋寄り）に固定すると、家具が転倒する可能性がある。

取り付ける壁紙と器具が適合するか確認する。

◆ ご自身で対策ができないときは

名古屋市では、自力で家具の転倒防止対策を行うことが困難な世帯を対象に、家具転倒防止ボランティア派遣事業を行っています。

- 家具などの転倒防止器具の代金は、実費負担（又は自身でご用意）いただきますが、施工作業（工賃）について、原則家具3点までボランティアが無料で実施します。
- ご自宅までボランティアが事前調査・家具転倒防止作業に伺います。
- ご自宅や家具の形態により、転倒防止対策が困難な場合もあります。
- 集合住宅では、管理者の許可が必要となる場合があります。
- 詳しくはお住いの区の消防署や区役所にお問い合わせください。（P50参照）



家具ボラ

検索



◆ 家の中

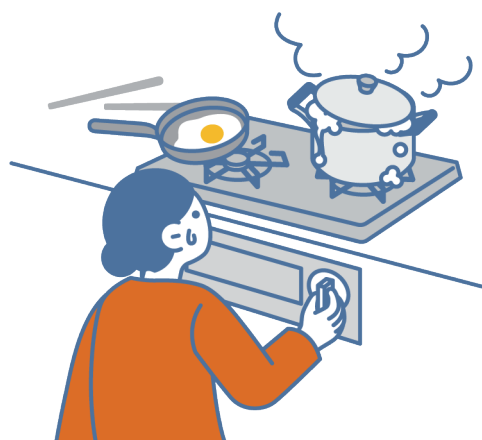
最優先でわが身の安全を守る

強い揺れで家具等が転倒して下敷きになったり、ガラスの破片などの落下物が頭を直撃すると負傷したり命を落とす場合もあります。倒れやすい家具や本棚から離れ、丈夫な机などの下に隠れるか、布団やクッションなどで頭を守ります。



火元を確認する

ガスコンロやストーブなどは、揺れが収まってから火の始末をする。出火した場合は慌てずに初期消火を行う。



出口を確保する

揺れが収まった時いつでも避難できるように、部屋の窓や戸、玄関のドアを開けて避難路を確保します。



慌てて外に飛び出さない

大地震でも激しい揺れは最初の1分程度です。慌てて外に飛び出すと、瓦やガラスなどの落下によりかえって危険です。



◆ 家の外

街にいたら

瓦の落下、ガラスの破片の飛散による怪我、ブロック塀などが崩れて押しつぶされることがあるので近づかない。



百貨店・スーパー

百貨店やスーパーでは商品の散乱やショーケースの破損に注意して、太い柱の近くへ。買い物かごやカバンを使い身を守りましょう。



地下街

地下街は地震に強いため慌てて非常口に殺到しないこと。



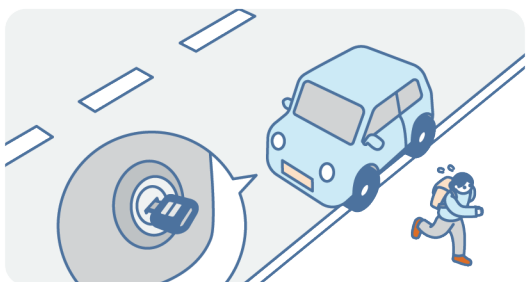
エレベーター

エレベーターの中で揺れを感じたら、全ての行き先ボタンを押し、止まった階で降ります。



運転していたら

道路の左側に車を止め、緊急車両通行時に移動できるよう、避難する時は鍵をつけたまま避難します。

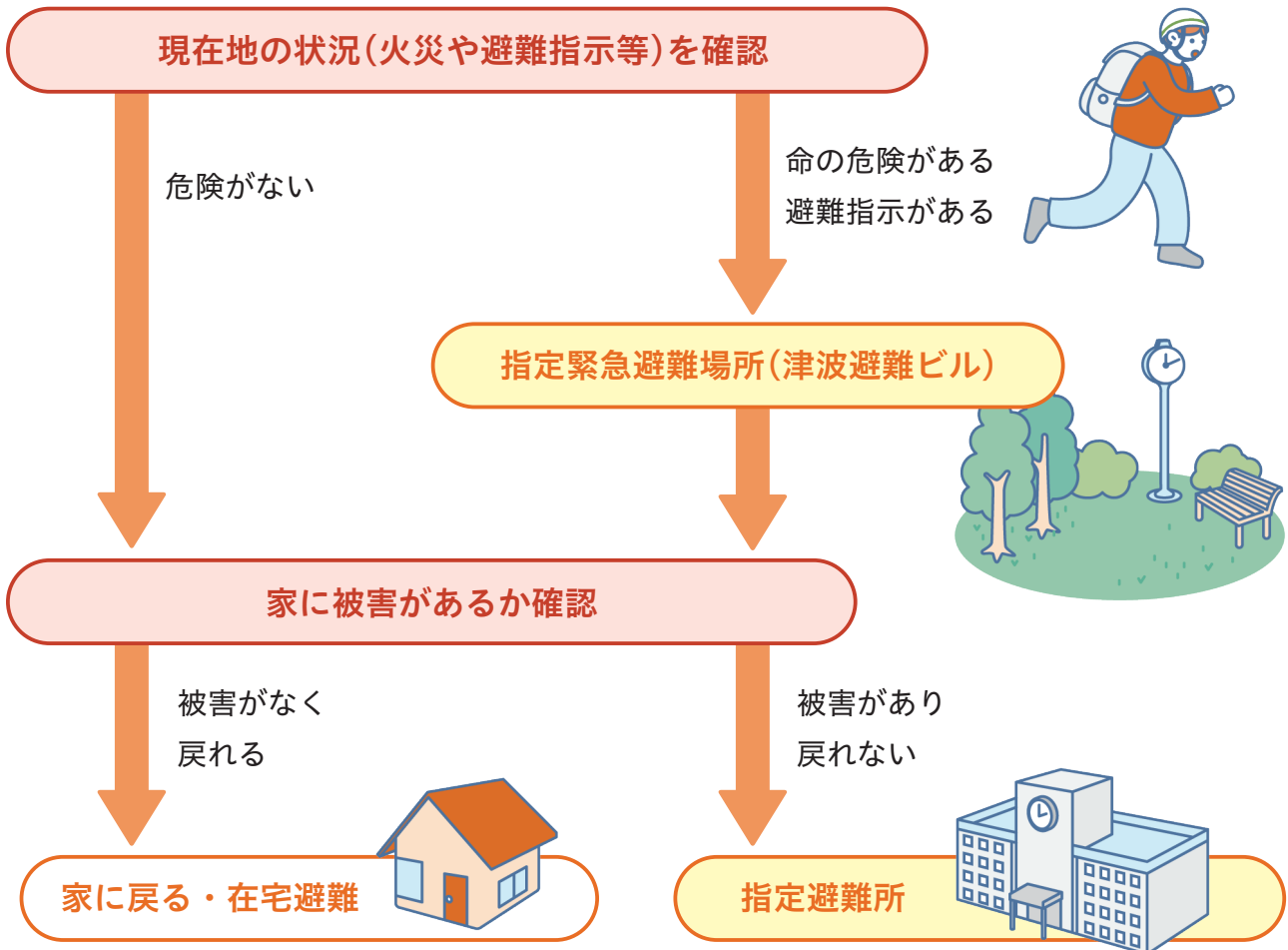


海岸や河口付近にいたら

津波に備え、すぐに高台や津波避難ビルに避難します。



◆ 避難の流れ



指定緊急避難場所：命を守るため、災害の危険からまず逃げるための場所(災害の種類ごとに異なる)

指定避難所：自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間、避難生活を送るための場所

※在宅避難をしていても避難所で避難者登録をすることで、
食料などの支給を受けることができます。

◆ 津波からの指定緊急避難場所

津波による被害を避けるためには、津波の来ない高台(津波災害警戒区域外)へすぐに逃げる必要があります。津波避難ビルは、近くに高台がない場合や、高台へ逃げる時間がない場合など、切迫した状況での一時的な避難を目的として指定を行っているものです。

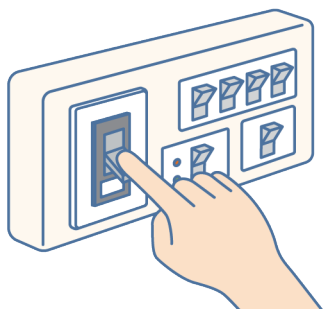
地震発生後、伊勢・三河湾に大津波警報が発表された場合は、津波の来ない高台へすぐに避難してください。できない場合には、津波避難ビルを緊急の避難場所として活用しましょう。



◆ 避難する時の注意点

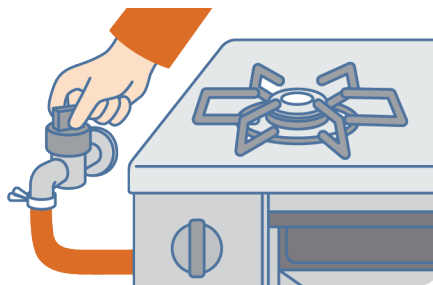
ブレーカーを落とす

倒れた電気器具や破損した電気配線に通電再開後、火災が発生する恐れがあるためブレーカーを遮断します。



ガスの元栓を閉める

ガス管やガス器具が破損しているとガスが復旧した時に、ガス漏れが発生するため元栓を閉めます。



非常持出品を携行する

動きやすい服装で非常持出品を携行して避難する。運動靴を履き帽子(できればヘルメット)をかぶる。



安否確認札を掲出する

避難する際に、自分や家族の安否を示す安否確認札を掲出します。避難先の情報も併せて記載します。



伝言板・SNSを活用する

電話が繋がらなくなることを想定し、連絡手段を用意する。



地震体験車で地震体験をしてみよう！

名古屋市消防局では、令和7年度から運用を開始したVR地震体験車「NGKクロコくんシミュレーター」と平成29年度から運用している「移動防災パビリオン ジョジョ号」の2台の地震体験車を保有しています。最大で震度7の地震体験をきっかけに、命を守る家庭の防災対策を進めましょう！



VR地震体験車

「NGKクロコくんシミュレーター」

NGK クロコくんシミュレーターの特徴

体験者はVRゴーグルを掛けると地震体験車の揺れ（震度6強）と連動したVR映像を見ることができ、夕食時のキッチン、学校の教室での授業中、屋外などの3コンテンツに対応しています。

◆ 地震体験車の派遣申込みについて

名古屋市内の地域や各種学校、事業所などで開催する防災訓練や各種イベントの際は地震体験車の派遣をぜひご検討ください。

派遣依頼、ご相談は各行政区の消防署総務課（P50参照）までご連絡ください。

※予約状況等により地震体験車を派遣できない場合もありますのであらかじめご了承ください。



「移動防災パビリオン ジョジョ号」

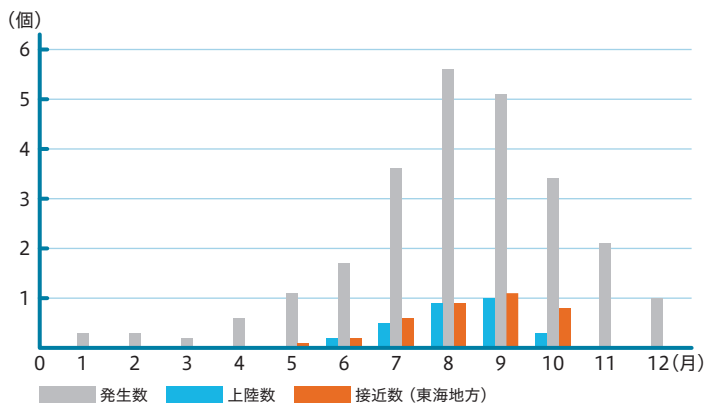
自助「風水害編」

風水害の知識

◆ 台風とは

「熱帯低気圧」のうち、北太平洋又は南シナ海に存在し、低気圧域内の最大風速がおよそ毎秒17m以上のものを台風といいます。年間の平均で約25個発生し、そのうち約12個が日本（東海地方）に接近、約3個程が上陸しています。7月～10月にかけて接近・上陸する数が多くなる傾向にあります。

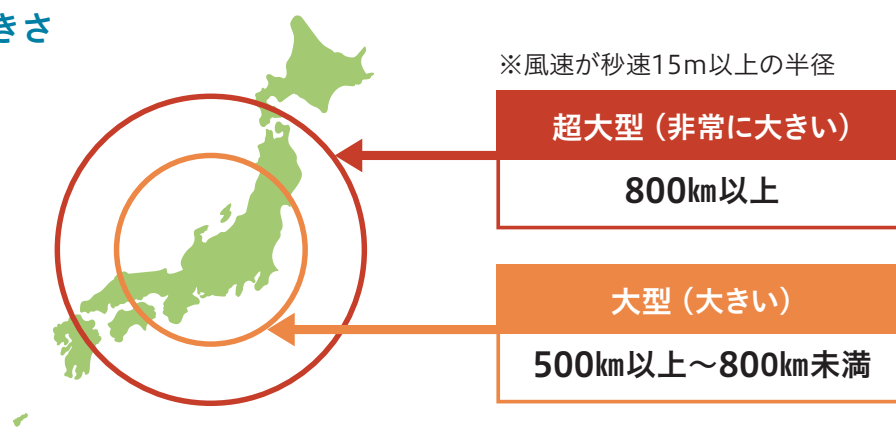
月別の台風発生・接近・上陸数の平均値（1995～2025年）



◆ 台風の大きさと強さ

台風の勢力を示す目安として、台風を「大きさ」と「強さ」で分類します。大きさは「強風域(風速15m /以上)」の半径」で、強さは「最大風速」で区分しています。台風情報では、台風の大きさと強さを組み合わせて、「大型で強い台風」などのように呼んでいます。

台風の大きさ

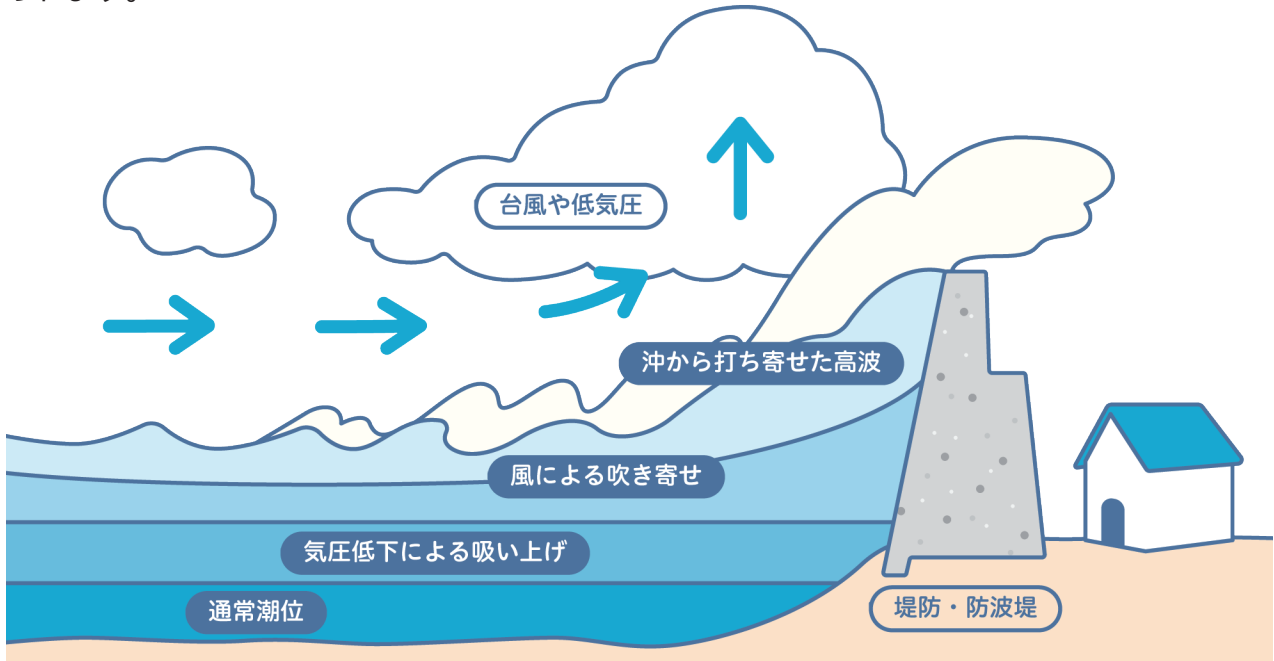


台風の強さ

階級	最大風速
猛烈な	秒速54m以上
非常に強い	秒速44m以上～54m未満
強い	秒速33m以上～44m未満

◆ 高潮による被害

高潮とは、台風や発達した低気圧に伴って、海岸で海面が異常に高くなる現象です。気圧が1 hPa下がると海面は1 cm高くなります。高潮による最も大きな災害では伊勢湾台風があげられます。



◆ 高潮災害発生の事例

伊勢湾台風

伊勢湾台風は、昭和34年9月22日マリアナ沖で台風第15号として発生すると急速に勢力を増し、9月26日18時すぎには、潮岬の西15kmのところの上陸しました。上陸時の最低気圧は930hPa、暴風圏が300kmに達するこの台風は、名古屋市すぐ西を通ったため、名古屋市から四日市市にかけて、T・P3.89m以上の高潮となり各地で堤防が決壊、名古屋市においては、死者行方不明1,851名、また全国で5,098名という台風史上未曾有の災害を引き起こしました。

T・P=東京湾平均海面

海面の高さは各地でことなるため基準値として、東京湾平均海面を用いた場合T・Pと表記する。

名古屋港基準面(N・P)は東京湾平均海面より1.412m低い。



▲昭和34年10月 浸水後2週間、いまだ濁水に浮かぶ南陽小学校茶屋分校

◆ 集中豪雨とは

予測は難しい、局地的、ゲリラ的、突発的、夜から朝にかけてが多い

昭和28年8月15日の京都木津川付近における豪雨報道で、朝日新聞夕刊に新聞用語として使われ始めたのが一般化したもので、狭い地域に多量の雨が短時間に降ることをいいます。このような豪雨は、天気図をみても特に目立った特徴もなく、予報は極めて難しく、気象学の重要な研究対象になっています。集中豪雨の原因は、大きく分けると台風による場合と、寒気と暖気のぶつかりあった場合とがあり、ともに多量の湿った気流が寒気中に送り込まれるのが原因です。

平成12年9月東海豪雨

日本付近に停滞した秋雨前線に台風第14号が暖かく湿った気流を流し込む形で、活動が活発化し、平成12年9月11～12日にかけて、愛知県を中心に東海地方は記録的な豪雨に見舞われました。名古屋地方気象台では最大1時間降水量97.0mm、最大24時間降水量534.5mmを観測し、新川（一級河川）の堤防決壊を始め愛知県内河川の45カ所で破堤、6万5千棟に及ぶ床上・床下浸水家屋を出しました。



▲天白区野並古川町付近（平成12年9月12日）

平成20年8月末豪雨

平成20年8月26日から27日にかけて西日本の太平洋側を中心に大雨をもたらした低気圧が28日から31日にかけて日本の南海上へ進み、本州付近に停滞した前線に向かって非常に湿った空気の流れ込みが強まった結果、大気の状態が不安定となり、東海地方などで記録的な豪雨となりました。愛知県では岡崎市において最大1時間降水量146.5mmを観測し、名古屋地方気象台では最大1時間降水量84.0mm、最大24時間降水量193.0mmを観測しました。名古屋市では、中村区及び中川区を中心に内水氾濫等により1万1千棟余に及ぶ床上・床下浸水家屋を出しました。

平成23年台風第15号

台風第15号は、強い勢力を維持しながら平成23年9月21日に東海道沖を北東に進み、14時頃静岡県浜松市付近に上陸後、東海、関東地方を縦断して太平洋に抜けました。台風が九州の南を北東に進んでいた20日日中は、日本付近に停滞する前線に向かって暖かく湿った空気が流入し、尾張東部から中濃・東濃にかけて大雨となり、名古屋地方気象台では最大1時間降水量45.5mm、最大24時間降水量223.5mmを観測しました。名古屋市では、庄内川の堤防越水等により378棟に及ぶ床上・床下浸水家屋を出しました。

気象情報と避難情報の確認

避難とは「難」を「避」けることであり、避難所に行くことだけが避難行動ではありません。親戚や知人宅も事前に避難場所として検討しましょう。（安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません）また避難指示が出されていなくても危険が迫る前に早めに避難を開始しましょう。

警戒レベル	避難行動など	避難情報など	警戒レベル相当情報
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。		早期注意情報
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップなどにより、 自らの避難行動を確認 しましょう。		レベル 2 氾濫注意報 レベル 2 大雨注意報 レベル 2 土砂災害注意報 レベル 2 高潮注意報
警戒レベル 3	危険な場所から高齢者等は避難 避難に時間を要する人（高齢者、障害者、乳幼児など）とその支援者は危険な場所から避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 (市が発令)	レベル 3 氾濫警報 レベル 3 大雨警報 レベル 3 土砂災害警報 レベル 3 高潮警報
警戒レベル 4	危険な場所から全員避難 土砂災害などの兆候が表れているため、 速やかに危険な場所から避難 を。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅のより安全な場所に避難をしましょう。	避難指示 (市が発令)	レベル 4 氾濫危険警報 レベル 4 大雨危険警報 レベル 4 土砂災害危険警報 レベル 4 高潮危険警報
警戒レベル 5	既に 災害が発生 している状況です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。	緊急安全確保 ※必ず発令されるものではない (市が発令)	レベル 5 氾濫特別警報 レベル 5 大雨特別警報 レベル 5 土砂災害特別警報 レベル 5 高潮特別警報

低
↑
危険度
↓
高

◆ マイ・タイムラインを作成してみよう

マイ・タイムラインとは、台風や大雨の水害、地震などの災害に対し、一人ひとりの家族構成や地域環境に合わせて、あらかじめ時間の流れに沿って整理した避難行動計画のことです。

自然災害の危険性や避難場所などを示した「ハザードマップ」(P54参照)を確認し、マイ・タイムラインを作成してみましょう。

名古屋市 マイ・タイムライン

検索



わが家のマイ・タイムライン

基本情報

- 家族構成 _____ 人
- 家族以外と一緒に避難する人 名前: _____ 電話番号: _____
- 家族のお迎え _____ が _____ へ _____ を迎えに行く
- 家族のお迎え _____ が _____ へ _____ を迎えに行く
- 家族が離ればなれのときの集合場所 _____ に集合する

名前	携帯電話番号	自宅以外で主にいるところ	
		名称	電話番号

ハザードマップにあててみよう!

浸水深

- 10.0m以上
- 5.0m~10.0m未満
- 3.0m~5.0m未満
- 1.0m~3.0m未満
- 0.5m~1.0m未満
- 0.3m~0.5m未満
- 0.3m未満

【台風・大雨】

自宅の災害リスクチェック

- 洪水 _____ mの浸水 浸水継続時間 _____
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 内水氾濫 _____ mの浸水 浸水継続時間 _____
- 高潮 _____ mの浸水 浸水継続時間 _____
- ため池の決壊による浸水 土砂災害(特別)警戒区域

【地震】

自宅の災害リスクチェック

- 地震 震度 _____ 液状化の可能性 小・中・大
- 津波 _____ mの浸水 浸水開始時間 _____ 分
- 南海トラフ地震臨時情報 事前避難対象地域
- ため池の決壊による浸水 土砂災害(特別)警戒区域

わが家の避難行動

いつ、何をするかを考え、書き込んでおきましょう

該当するものに☑

- 防災グッズや避難の服装を再確認する
- テレビやインターネットで天気予報を確認する
- ハザードマップで、避難所や避難ルートを再確認する
- 家族の今後の予定を確認する
- 鉢植や物干しなど飛ばされそうなものを家の中に入れる

動しやすい服に着替える

テレビやインターネットで雨雲レーダーや川の水位を確認

携帯電話を充電する

地震発生

シェイクアウト
地震が発生したら、すぐに3つの行動(シェイクアウト)をしてください。

揺れが収まったらすぐ避難開始!
あわてて飛び出さない!
扉を開けて避難路を確保する!
ブロック塀などから離れる!

身を守る基本行動を覚えよう!

自宅にとどまることができない場合

- 地震の揺れ
- 大規模な火事

津波災害警戒区域内にお住まいの方

- 津波警報・大津波警報

避難指示

避難開始!

- 安全な場所へ移動

身の安全を確保する

避難できていない場合には、緊急的に安全を確保できる場所やより高いところへ移動しましょう!

発生した地震が、南海トラフ地震想定震源域*の西側でM8クラスの場合!

地震発生から5~30分後

南海トラフ地震臨時情報(調査中)発表

地震発生から最短2時間後

南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)発表

事前避難対象地域内にお住まいの方

- 事前避難
- 避難先

1 避難の避難生活に何が必要になりそうですか?

帰宅

事前避難対象地域外にお住まいの方

特別な備えや日ごろからの地震への備えを再確認!
家に帰ってからどのような地震への備えを行いますか?

特別な備えや日ごろからの地震への備えを再確認!
家に帰ってからどのような地震への備えを行いますか?

南海トラフ地震想定震源域

西側 東側

南海トラフ

事前の風水害対策

建物の応急修理

屋根のひび、割れ、はがれや外壁、ブロック塀の破損の応急修理をしましょう。

車庫・小屋等の屋根・側壁

風圧によるトタン板の飛散、大雨による雨漏り防止のため、止め金具等をチェックしましょう。

樹木

家の近くにある大きな木の枝は、強風により家屋を傷めるので剪定しておきましょう。

ひさし

風圧がかかるため腐食等がないか確認しましょう。

アンテナ等

TVのアンテナ、看板などは固定しておきましょう。

雨どい

落葉、土砂のつまりなどを取り除き、排水をスムーズにしておきましょう。

側溝

家のまわりの雨水ますや側溝のゴミやド口、落葉などを取り除き、水はけをよくしておきましょう。

植木鉢等

ベランダや家のまわりにある植木鉢や物干し竿など、飛散の危険が高いものは撤去しましょう。

雨戸、シャッター

破損、腐り、がたつき、ゆるみの応急修理をしましょう。

◆ 避難する時の注意点

台風や大雨は事前に災害が迫っているかを知ることができるため、事前に情報を収集し、危険が迫る前に避難を開始しましょう。

地下からの避難

地下街や地下鉄、地下室は浸水しやすく早めの避難が必要です。



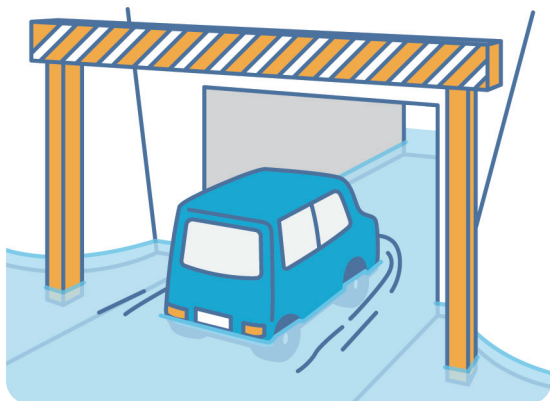
冠水している道路に注意

冠水している道路は深さがわからず、マンホールや側溝のふたが外れていることもあるので危険です。やむを得ず冠水している道路を歩くときは、傘や杖、棒などで地面を確認しながら歩きます。



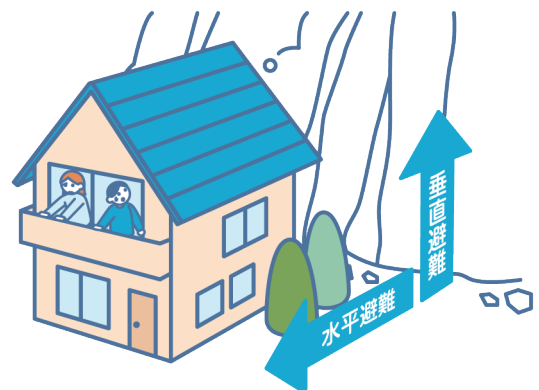
河川の近くや低い道は避ける

河川や用水路の近く、路面の高さが低くなっている道や地下通路は避けて避難するようにしましょう。



避難するタイミングを逃したら

夜間や危険が差し迫っている場合など、屋外へ避難するとかえって危険な場合は建物内の少しでも安全な場所へ避難します。



共助 [自主防災組織編]

自主防災組織とは

昭和34年の伊勢湾台風を契機に制定された「災害対策基本法」で定義されている『住民の隣保協同の精神に基づく自発的な防災組織』を「自主防災組織」と言います。

名古屋市では昭和56年から主に町内会・自治会単位で結成されており、防災安心まちづくり運動の中核的な組織として重要な役割を担っています。

大規模災害が発生した場合、公的機関は全力で対応に当たりますが、同時多発火災やライフラインの破壊などにより、一時的に機能がマヒする可能性があるため、災害から生き延びるためには『自分の命は自分で守る「自助力」』と『隣近所で助け合う「共助力」』が求められます。

次の項目からは自主防災組織が実施する活動を中心に詳しく説明していきます。



自主防災組織の必要性と各関係機関との連携

◆ 自主防災組織の必要性

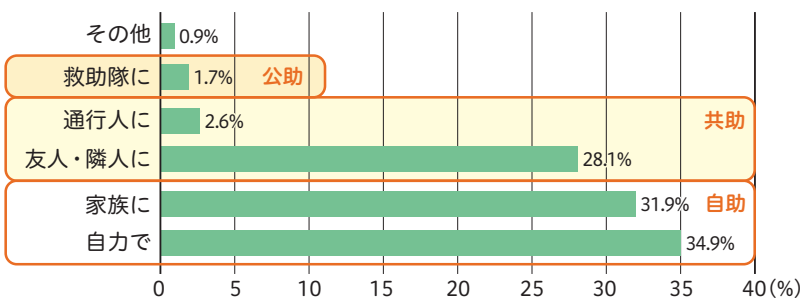
大規模災害が発生した時、例えば南海トラフ地震などの巨大地震が発生した時は、「火災」や「津波」の発生「家屋の倒壊」や「道路やブロック塀の倒壊」、「停電」や「断水」など様々な事象が同時多発的に発生し、それに伴う「消火」「避難」「救助」等、命を守るための行動が必要となります。

そのような行動を一人で行うことは不可能であり、隣近所で協力して行うこととなります。

阪神・淡路大震災では、家屋の倒壊による生き埋めや建物などに閉じ込められた人のうち、自力または「家族や隣近所の人」による救助がほとんどであったことから「共助」の必要性が証明されています。



生き埋めや閉じ込められた際の救助

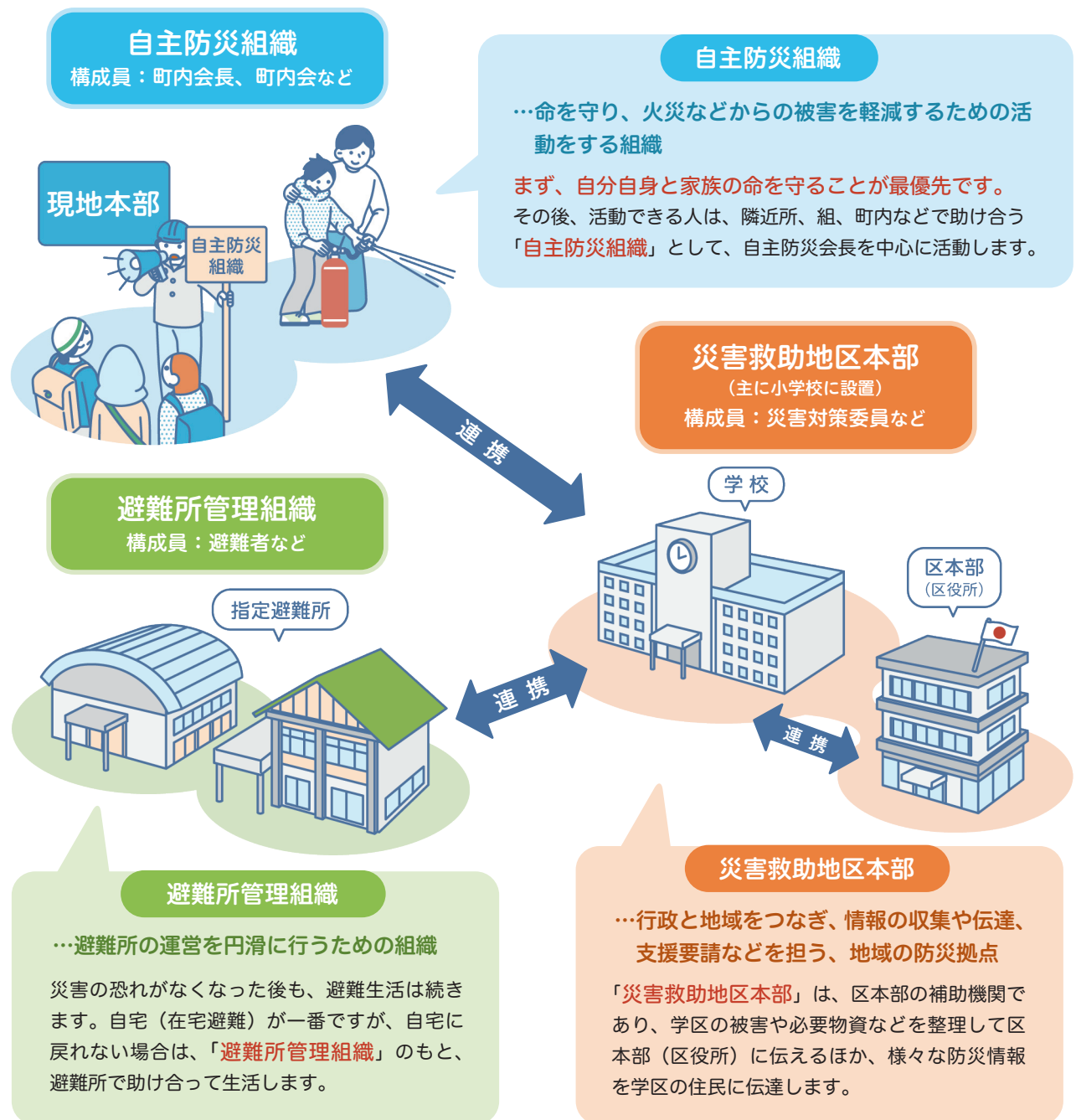


出典：(社)日本火災学会「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」

◆ 関係機関との連携

大規模災害発生時は、自主防災組織だけではなく、学区ごとに設置される災害救助地区本部、指定避難所に組織される避難所管理組織、区本部（区役所）などと連携した地域防災活動が行われます。

各関係機関との連携は、下図のようなイメージとなります



※災害時の初動対応、災害救助地区本部、避難所管理組織の活動については、マニュアル等で確認してください。

初動対応シート



災害救助地区本部



避難所管理組織



◆ 自主防災活動の種別と主な活動内容

自主防災組織として行う活動を大きく分けて6つ例示します。(下表参照)。上から順に優先的に取り組んでいただきたい活動となっています。

次のページからそれぞれの活動の平常時にしておくこと、災害時に行うことを掲載しています。活動について、助言や支援を必要とされる場合は管轄の消防署へご連絡ください。

種別	活動概要
安否確認	<ul style="list-style-type: none"> ・住民同士で安否を確認し、救出や消火が必要な世帯を迅速に把握する
現地本部運営	<ul style="list-style-type: none"> ・安否確認の結果や被害の情報を集約し、災害救助地区本部へ報告する
初期消火	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器や消火バケツなどにより消火活動を実施する
救出・救護	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャッキなどの資器材を使い救助活動を行う ・三角巾での応急処置や担架での搬送を行う
避難誘導	<ul style="list-style-type: none"> ・指定緊急避難場所への誘導を行う ・要配慮者の避難の支援を行う
防災計画・マップなどの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に関するマニュアル等をまとめる ・地域の危険情報などを記したマップの作成

◆ 安否確認

(1) ルールの策定

- 安否を知らせるツール
(安否確認札やタオルなど)
- 安否を確認・集計する人
(地域住民など)
- 安否確認を開始する時期
(例：震度5強以上)
- 安否確認結果の報告先
(例：現地本部)



(2) 地域で決めたルールを住民に周知する

(3) 地域で安否確認訓練を行う



平常時

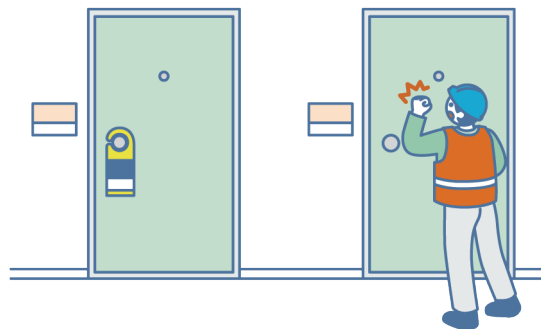
災害時

(1) ルールに基づき、安否確認を開始する

(2) 結果を取りまとめ、報告する

(3) 救助や消火が必要な場合は応援を呼ぶ

(4) 安否が確認できていない人を再確認する



◆ 現地本部運営

(1) ルールの策定

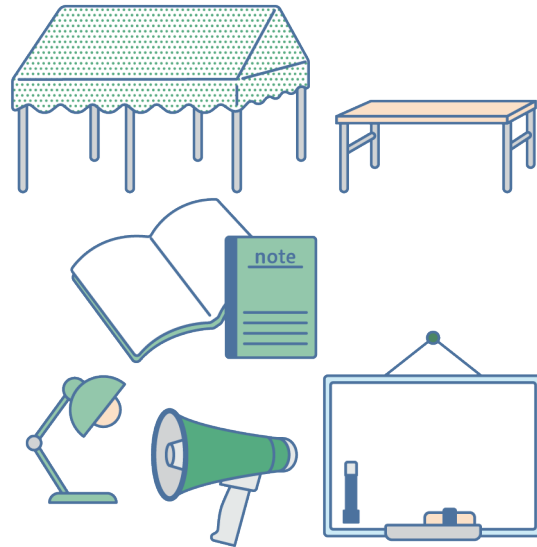
- 設置場所
- 設営する人
- 必要な資器材
- 設置時期など

(2) 地域で決めたルールを住民に周知する

(3) 地域で現地本部運営訓練を行う

※ 安否確認訓練と併せて実施することが望ましい

必要資器材例



平常時

災害時

(1) ルールに基づき現地本部を設置する

(2) 安否確認結果や被害情報を集約する

(3) 救助や消火活動、安否確認の再確認を住民に指示する

(4) 集約した情報を災害救助地区本部に報告する



◆ 初期消火

(1) 近隣の消火器等の設置場所を確認

(2) 消火器取扱い訓練を実施



災害時

(1) 火災発生場所に消火器等を集める

(2) 初期消火を実施

※初期消火時は退路を確保し、炎が天井に達する前に避難する



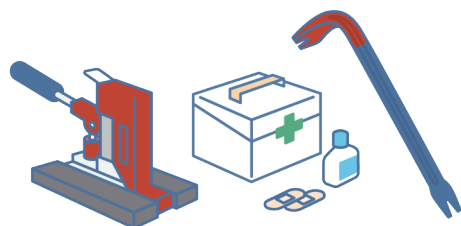
平常時

◆ 救出救護

(1) 救助や応急処置に必要な資器材を確認

※各家庭や地域防災協力事業所の状況も含む

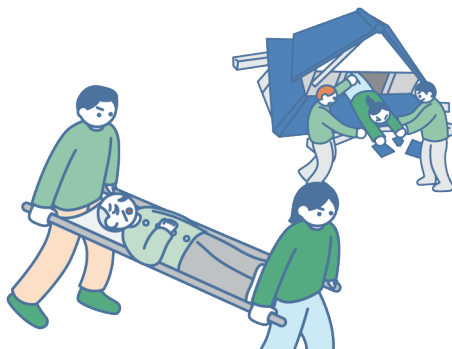
(2) 救出訓練や応急手当訓練を実施



災害時

(1) 安否確認結果などにより救助が必要な人や負傷者を確認

(2) 現地本部へ報告後必要な人員及び資器材を集めて救出及び応急処置を実施



平常時

◆ 避難誘導

- (1) 避難に必要な資器材の確認
- (2) 避難場所への経路を組単位などで確認
- (3) 避難誘導訓練を実施



災害時

- (1) 避難情報などの情報を入手し指定緊急避難場所等へ避難誘導を開始
- (2) 要配慮者などで人員が必要な場合は、現地本部に報告し必要な人員を集めてから対応する



平常時

◆ 防災計画・マップなどの作成

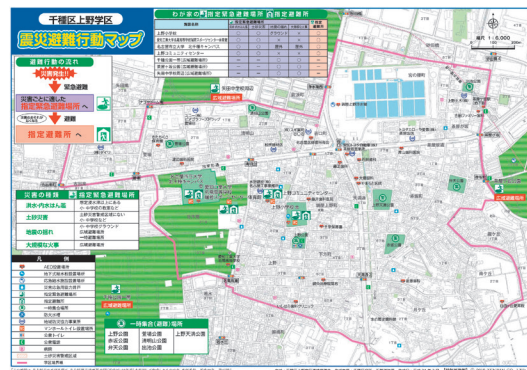
- (1) 資器材の整備や訓練予定、安否確認や現地本部のマニュアルなどをまとめた防災計画を策定
- (2) 避難上の危険箇所や災害時に役立つ施設などを記したマップを作成
- (3) 作成した計画とマップを住民に共有、定期的な見直し



災害時

- (1) 計画やマップを現地本部に持出し、貼り出すなどして災害対応に活用

(学区内の建物に掲示し、災害時に活用)



平常時

消防局が行う自主防災組織の活動支援

消防署が行う支援として先に説明した6つの訓練の手法や資器材の支援を行っています。また、令和7年度から自主防災組織ごとのハザード等に応じた啓発を各戸に実施しています。

◆ 各戸啓発

(1) 地域調整

実施するエリア、啓発する内容、
訪問の日時を調整



(2) 職員が各世帯を訪問し啓発を実施

◆ 面会のイメージ

【呼びかけ】

インターホンを鳴らす
呼びかける

面会可

- ① 挨拶、趣旨説明
- ② 啓発
- ③ リーフレット等を
手交・退去
→次の世帯

不在

リーフレット等を
投函し次の世帯へ

◆ 啓発内容の例

- ・寝室の家具転倒防止対策の状況は？
- ・〇月△日に自主防災訓練を実施しますので、ご参加をお願いします
- ・地域のハザード（木造密集地・土砂災害等）についての対策



Q. 費用請求されることはありますか？また詐欺が心配です。

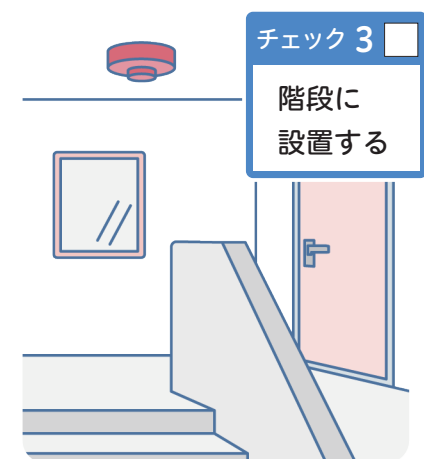
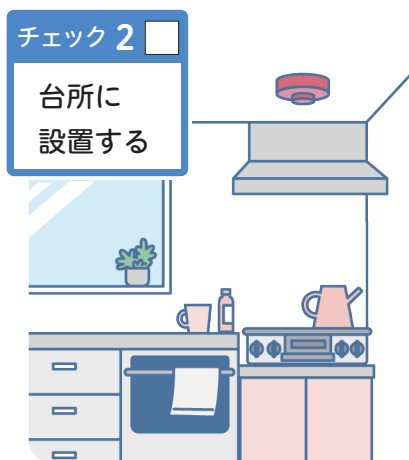
A. 職員が費用を請求することは一切ありません。なお職員は制服を着用し訪問します。
自主防災訓練は最寄りの消防署までご連絡ください（P50参照）

火災予防編

住宅用火災警報器を設置しましょう

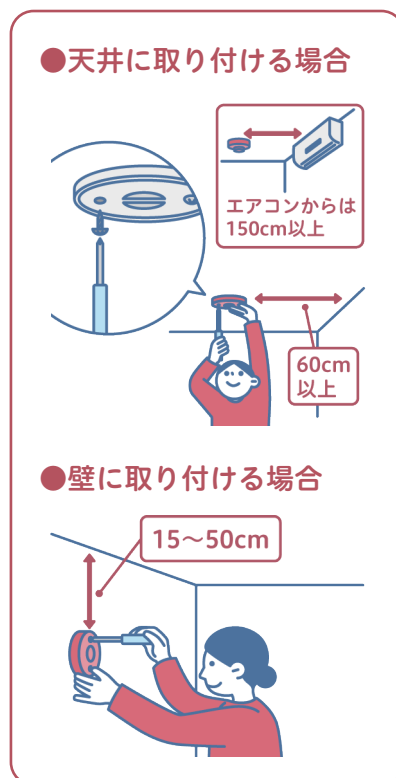
住宅用火災警報器は、火災により発生する煙や熱をいち早く感知して、警報音や音声でお知らせするものです。平成20年6月からすべての住宅（新築、既存を問わず）に、住宅用火災警報器の設置が義務となりました。住宅火災から大切な命、財産を守るために住宅用火災警報器を設置しましょう！

◆ どこに取り付けたらいいの？



※ 2階建てで2階に寝室がない場合は階段への設置は不要です。

- 寝室
- 台所
- 寝室のある階の階段



自分で取り付けできない場合はどうするの？

家電販売店やホームセンターなどでは、取り付けサービス（有料）を行っているところがありますので、購入時等にご相談ください。

その他、名古屋市シルバー人材センターでも取り付け作業（有料）を行っています。

お気軽にご相談ください。（連絡先は P.52 ページを参照）

◆ 取り替えの目安は？

設置して**10年**が取替えの目安です。

古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため

10年を目安に **機器ごと交換** することを推奨しています。

◆ 点検の仕方は？

ボタンを押す、またはひもを引いて作動確認をします。

正常な場合は？

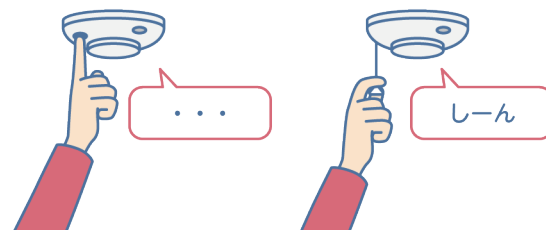
正常をお知らせするメッセージ
または火災警告音になります。



※警報音はメーカーや製品により異なります。

音が鳴らない場合は？

電池がきちんとセットされているか、
ご確認ください。



それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か
「機器本体の故障」です。機器ごと交換しましょう。

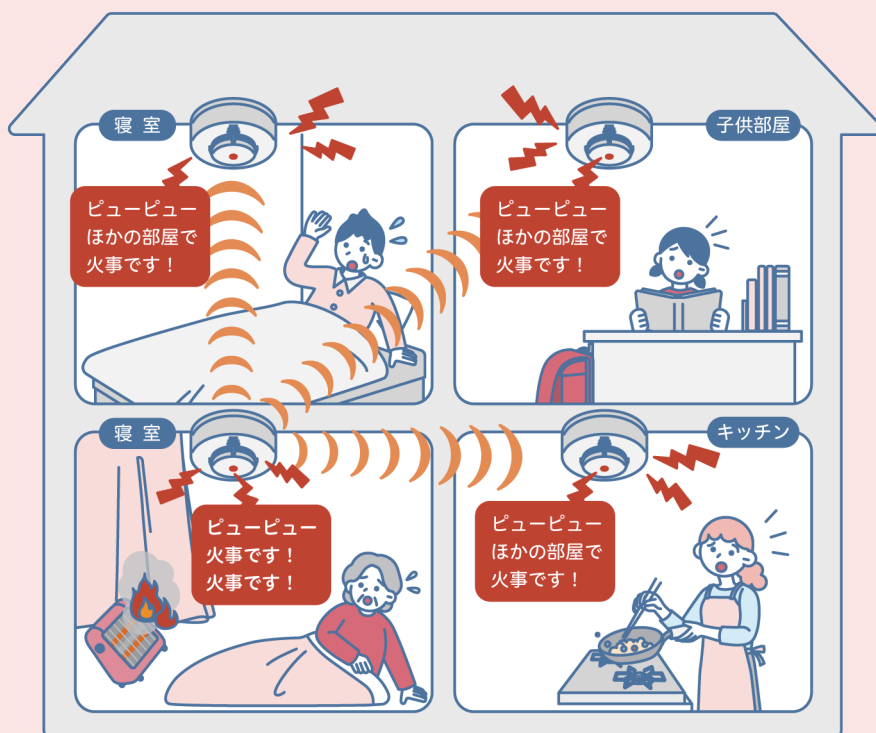
単独型

火災を検知した住宅用火災警報器だけが
警報を発します。

連動型

火災を検知した住宅用火災警報器だけでなく、
連動設定を行っている全ての住宅用火災警報
器が火災信号を受け警報を発します。

取替えるなら、家中にすばやく^{※1} お知らせする 「連動型」が安心です。



消防法と火災予防
条例により、設置が
必要な場所は寝室・
階段^{※2}・台所です！



※1 約0.5秒～10秒（周囲の環境によっては20秒程度かかる場合があります）

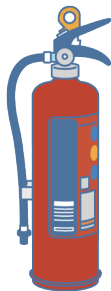
※2 寝室が2階以上にある場合に設置が必要です。

日頃の備えをしましょう

◆ 火災を早く消すために

消火器

適用できる火災が消火器の表面に記載されていますので、家庭で起こり得る油火災や電気火災に適用した扱いやすい大きさのものを選択しましょう。



エアゾール式簡易消火具

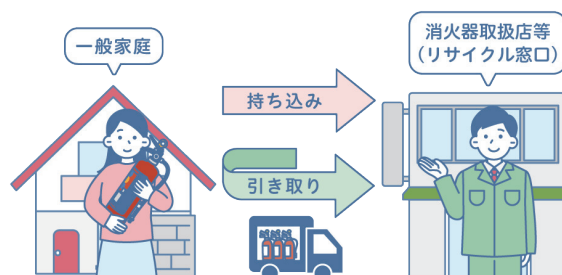
片手で素早く使えるスプレー式で、天ぷら油などの火災に効果を発揮します。



主な購入先：ホームセンター・防災機器取扱店など

廃消火器リサイクルシステムの活用

消火器の安全な回収とリサイクルを推進するための新システムで、どのメーカーの消火器でも各地域にある消火器取扱店等（リサイクル窓口）に、廃棄する消火器を持ち込むか、自宅まで引き取りを依頼し処分することができます。（どちらも有料）



消火器取り扱い店舗等は、消火器リサイクル推進センターのホームページ (<http://www.ferpc.jp/>) でリサイクル窓口を検索するか、コールセンター（03-5829-6773 9:00～17:00/土日祝休日及び12:00～13:00を除く）まで、お問合せ下さい。



ホームセンターでの交換

ホームセンター等では消火器を1本購入すると、無料で1本古くなった消火器を引き取るサービスを行っているところもありますので、各ホームセンターにお問い合わせください。

「ゆうパック」を利用した家庭用の消火器の回収・リサイクル

問い合わせ先：0120-82-2306（HATSUTAエコリサイクルセンター）

受付時間：10～12時、13～17時（土、日、祝日、センターの指定定休日は除く）



◆ 火災を拡大させないために

防災品

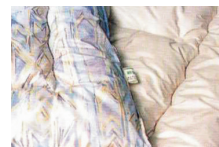
寝具や衣類など、火が着いても燃え広がりにくいので安全です。



防災カーテン



防災じゅうたん



防災ふとん



同時着火35秒後

このラベルが
目印です



防災品のお問い合わせ先：日本防災協会名古屋事務所 ☎052-321-4344

放火火災から家庭や街を守りましょう

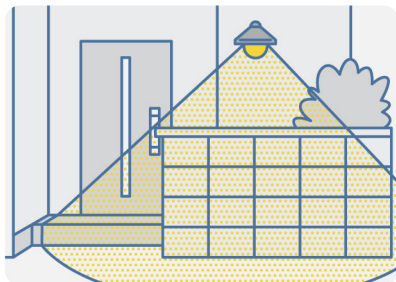
放火火災は、たばこによる火災やコンロによる火災など、人のちょっとした不注意から起きる失火とは異なり、人が火をつけるという意志を持って発生する火災です。この放火火災を防止するために次の対策を実施しましょう。

◆ 放火をさせないために

1 家の周囲、共用部の廊下及び階段に燃えやすい物を置かない。



2 屋外灯を点灯する。



3 資源・ゴミは収集日の朝に出す。



4 空家の侵入防止措置をする。



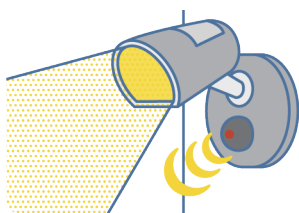
5 物置、車庫には必ず鍵をかける。



6 隣近所で声をかけ合う。



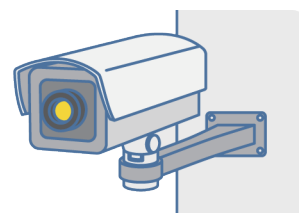
7 防犯機器を活用する。(監視性を高めるためには、次のような防犯機器の活用が効果的です。)



センサー付ライト 設置場所例
 周囲の明暗や人の動きを検知して、明るくします。
 1. 建物外周部 (全建物)
 2. 物置・車庫 (住宅)
 3. 屋外共用部 (共同住宅など)
 4. 置場 (店舗・工場・作業所など)

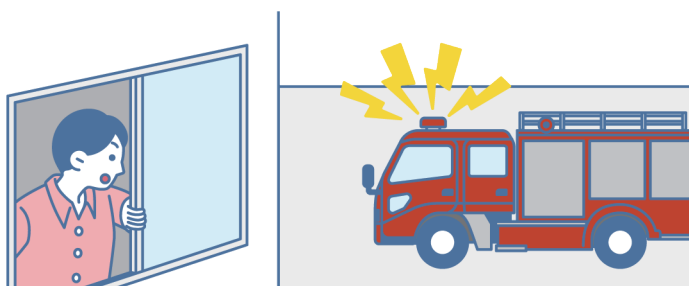


センサー付ブザー 設置場所例
 ドアや窓に取り付け、侵入しようとする音が鳴ります。
 1. 建物の出入口・窓 (全建物)
 2. 物置・車庫 (住宅)



監視カメラ(ダミーカメラ) 設置場所例
 監視されていることを相手に意識させる効果があります。
 1. 屋内共用部 (共同住宅・事務所)
 2. 屋内駐車場 (共同住宅・事務所)
 3. 建物内部 (倉庫・工場・作業所など)

8 消防車のサイレンが聞こえたら窓を開けて周囲を確認する。



このような放火対策を各家庭で行い、地域においては「自分たちのまちは、自分たちで守る」という意識を持って、地域ぐるみで「放火されない環境づくり」に努めることが放火対策の重要なポイントです。

住宅の火災予防を確認しましょう

◆ たばこ

火災事例

飲酒后、たばこを吸ったまま寝入ってしまい布団や新聞などが燃えた。

避難行動がとれず命を落とす事例もあります。



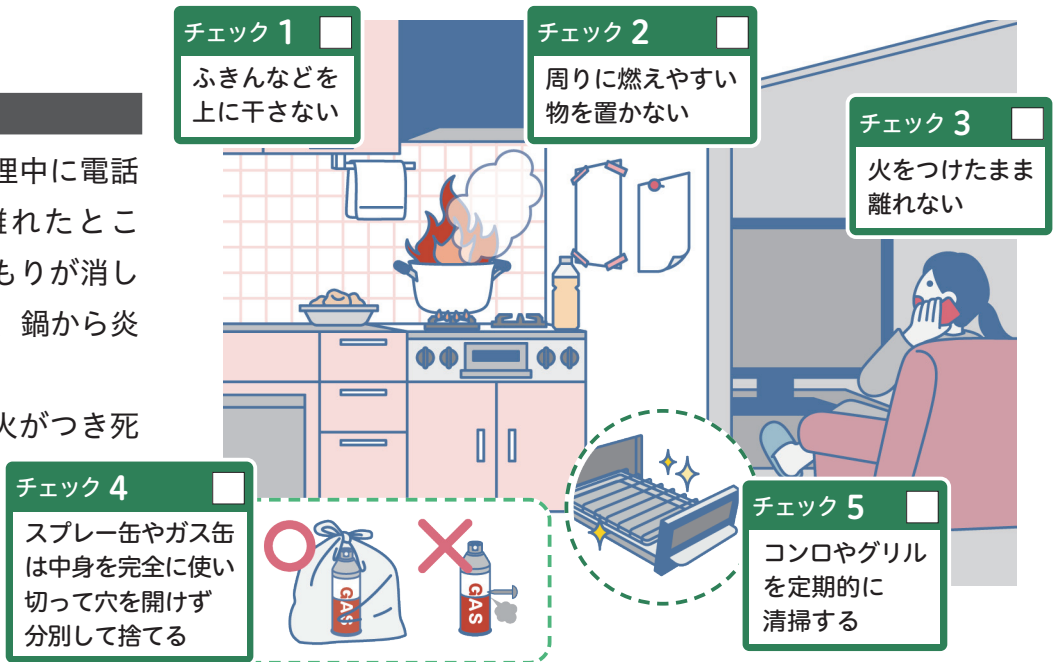
◆ コンロ

火災事例

台所で揚げ物の調理中に電話がありその場を離れたところ、火を消したつもりが消していなかったため、鍋から炎が上がっていた。

※調理中に衣服に火がつき死傷した方がいます。

調理中は、袖や裾に注意しましょう。

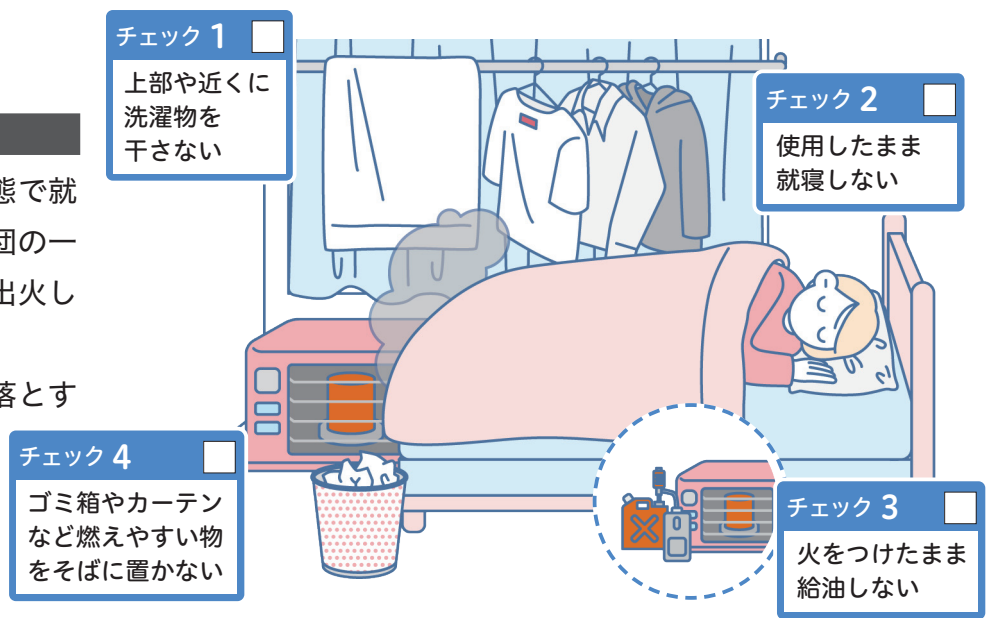


◆ 暖房器具

火災事例

ストーブを使用した状態で就寝したところ、掛け布団の一部がストーブと接触し出火した。

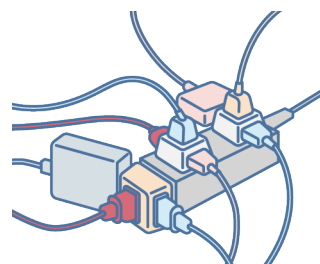
避難行動がとれず命を落とす事例もあります。



◆ 電気器具・コード

火災事例 台所で、延長コードが棚の下敷きとなり断線したため、コードから火花が発生し、可燃物に着火した。

- チェック 1 電気コードの上に家具などの重いものをのせない
- チェック 2 タコ足配線など、許容電力を超える使い方をしない
- チェック 3 電気コードを束ねたまま使用しない
- チェック 4 電気コードに極端な変形や、被覆などに傷がある場合は交換する
- チェック 5 コンセントに差したままのプラグに、ホコリがたまらないよう、定期的に差し込みプラグを抜いて掃除する（トラッキング防止）
- チェック 6 コンセントにプラグを奥まで差し込む



※「トラッキング」とは

差し込みプラグとコンセントの隙間にたまったホコリが、湿気を帯びることでプラグ両端で火花が発生し、プラスチックの絶縁部分が炭化して、電気が流れ続けることで出火する現象です。



◆ スプレー缶・カセットボンベ

火災事例 台所のシンクで、スプレー缶やカセットボンベの穴あけ作業を行ったのち、コンロを使用した結果、台所内に充満したガスに引火した。

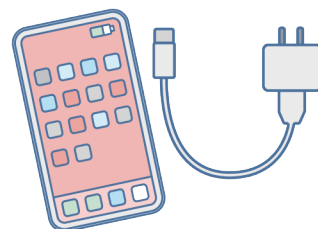
- チェック 1 厨房器具や暖房器具の付近では使用しない
- チェック 2 カセットボンベは、正しく装着されていることを確認する
- チェック 3 カセットコンロを使用する時には、カセットボンベが大きな鍋などで加熱されないようにする
- チェック 4 やむを得ず使い切らずに捨てる時には、風通しの良い屋外でガスがなくなるまで噴射し廃棄する



◆ リチウムイオン電池

火災事例 モバイルバッテリーを充電中、内蔵されたりチウムイオン電池が過充電により短絡し、炎が上がった。

- チェック 1 充電が完了したら、コードを必ず抜く
- チェック 2 充電する場合は、必ず付属品やメーカー指定の充電器を使用する
- チェック 3 膨張、異音、異臭などが生じたものは使用しない
- チェック 4 購入の際には、PSE マークがあることを確認する



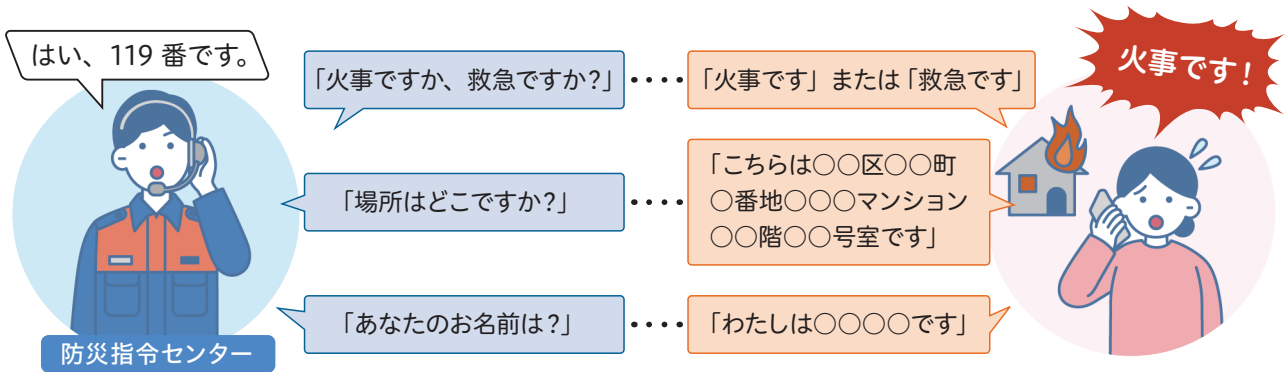
※「PSE マーク」とは

電気用品安全法の規制対象となる電気製品に、国が定めた一定の安全基準などを満たしている場合に表示できるマークです。



万一火災が起きたら

◆ 119番通報をしましょう



- 119番通報は、慌てず落ち着いて通報することが大切です。
- 速やかに119番通報ができるように、電話機の周りに住所などを書いたメモを貼っておきましょう。

◆ 初期消火をしましょう

初期消火の限界は、一般的に「天井に炎が達する前まで」です。それまでに消火する必要があり、消せなかった場合は速やかに避難ができるように退路を確保しておきましょう。

消火器の使い方



- ① 安全栓を引き抜く。
※屋外で使用する際は、
風上から使用してください。



- ② ホースをはずし十分な距離
(火元から約3~4m) まで
近づき、ホースの先端をもっ
て、ノズルを火元に向ける。



- ③ レバーを強く握り、ほ
うきで履くように火元
(燃えているもの) に
向けて放射する。

◆ 避難しましょう

- 子供や高齢者がいるご家庭では、火災を発見したら家族を速やかに避難させましょう。
- 初期消火ができなかった場合、命にかかわることがありますので速やかに避難してください。
- 炎が天井に着火すると、30秒から1分程度で、爆発的に燃焼するフラッシュオーバーという現象が発生するおそれがあるので、避難のタイミングを逃さないようにしましょう。
- 一度避難したら、絶対に家の中には戻らないでください。

応急手当編

災害時は何が起こるかわかりません。もし目の前で人が倒れたり、ケガをしている人がいたらなにをしたらいいのか。落ち着いて行動するためにも「災害時の備え」として応急手当の方法を身に付けておくことが自分や家族を守ることに繋がります。

大規模災害が発生してから後悔しないように今から身につけましょう。

心肺蘇生法

1 反応の確認

まずは周囲の安全確認

両肩をたたきながら、大きな声で呼びかけ

反応あり

具合をたずねる

反応なし

2 助けを呼ぶ

119番通報、AEDの順で依頼



3 呼吸の確認

胸とお腹の動きを見て普段通りの呼吸があるか10秒以内で確認(成人は10秒間に2～3回の呼吸があります。)

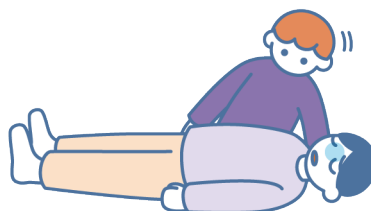
しゃくりあげるような呼吸や判断に

迷う時は呼吸なしと判断

呼吸あり

様子を見ながら、
応援、救急隊の
到着を待つ

呼吸なし



4 胸骨圧迫30回

胸の真ん中に両方の手のひらの付け根を重ねて、両肘をまっすぐに伸ばし、真上から圧迫(血液の流れを止めないように、絶え間ない胸骨圧迫を行ってください。)

※1分間に100回～120回の速さで、成人の場合は胸が約5cm、小児の場合は胸の厚さの約1/3沈むまでしっかり圧迫し、胸を押しした後、胸を元の高さまで戻すようにしてください。



応急手当とは

心肺蘇生(胸骨圧迫と人工呼吸)とAED(自動体外式除細動器)を用いた電気ショックなどの救命処置や出血、骨折や捻挫などの外傷や熱中症などに対する処置などを言います。

ここでは心肺蘇生法とさまざまな外傷の応急手当についてお話しします。



5 人工呼吸 2回

額を押さえながら、顎を上げて気道を確保
指で鼻をつまみ、息を約1秒かけて吹き込む
胸が軽く上がったら、いったん口を離し、
もう1回吹き込む

※感染の恐れや人工呼吸がためられる場合は連続で④胸骨圧迫のみ行います。



④⑤を1サイクルとして救急隊に引き継ぐまで繰り返し行います。

胸骨圧迫は想像以上に疲労します。複数人で交代しながら行うとよいでしょう。

※AEDが到着したら・・・

AEDが到着したら胸骨圧迫、人工呼吸より優先して使用します。

- ①電源を入れ、流れる音声メッセージに従って操作する。
- ②電気ショックが必要な場合は傷病者から離れ、ボタンを押す。
- ③その後は、音声メッセージに従い、
胸骨圧迫を再開する。



外傷処置

● 出血時の止血方法（直接圧迫止血法）

ケガなどで出血が多い場合には、できるだけ早く止血を行う。

出血部位（血が出ているところ）を確認し、ハンカチやタオルを当ててその上から手で押さえる。

※止血を行う際には、感染予防のため傷病者の血液などに直接触れないように、ビニール手袋や手袋の代わりにビニール袋を使用してください。



● 切り傷の処置

- ①傷口をしっかりと覆える布や包帯を用意する。
- ②傷口が土砂などで汚れている場合は、水で洗い流す。
- ③出血がある場合は、滅菌ガーゼなどを当てて、傷口を保護する。
- ④包帯等の大きな布で被覆する。



● 骨折、捻挫の処置

- ①そえ木で固定する。
※そえ木は負傷箇所の両側の関節まで固定する。
※そえ木は傘、新聞紙、段ボールでも代用可能。
- ②三角巾で被覆する。



市内の消防署ガイド

防火・防災について、お困りになっている事やご相談されたい事がありましたら、最寄りの消防署までご連絡ください。

消防署	住所	電話番号 (FAX)
千種消防署	〒464-0016 千種区希望ヶ丘2丁目6番21号	☎764-0119 (FAX 752-1119)
東消防署	〒461-0003 東区筒井一丁目8番30号	☎935-0119 (FAX 937-4468)
北消防署	〒462-0026 北区萩野通2丁目1番地	☎981-0119 (FAX 915-0119)
西消防署	〒451-0066 西区児玉二丁目25番22号	☎521-0119 (FAX 532-0119)
中村消防署	〒453-0821 中村区大宮町1丁目53番地	☎481-0119 (FAX 483-0119)
中消防署	〒460-0008 中区栄一丁目23番13号	☎231-0119 (FAX 222-0119)
昭和消防署	〒466-0015 昭和区御器所通2丁目16番地の1	☎841-0119 (FAX 842-0119)
瑞穂消防署	〒467-0811 瑞穂区北原町3丁目17番地	☎852-0119 (FAX 852-6223)
熱田消防署	〒456-0015 熱田区高蔵町4番9号	☎671-0119 (FAX 681-0119)
中川消防署	〒454-0911 中川区高畑一丁目224番地	☎363-0119 (FAX 362-0119)
港消防署	〒455-0031 港区千鳥一丁目11番19号	☎661-0119 (FAX 653-0119)
南消防署	〒457-0038 南区桜本町24番地	☎825-0119 (FAX 822-6133)
守山消防署	〒463-0055 守山区西新11番8号	☎791-0119 (FAX 793-0119)
緑消防署	〒458-0021 緑区滝ノ水四丁目2007番地	☎896-0119 (FAX 891-0119)
名東消防署	〒465-0056 名東区野間町40番地	☎703-0119 (FAX 703-0104)
天白消防署	〒468-0015 天白区原五丁目2506番地	☎801-0119 (FAX 806-0119)

火災発生時における広聴（市民相談）窓口一覧

問合わせ等の内容	問合せ先	電話番号 (市外局番：052)	FAX 番号 (市外局番：052)	
○避難に関すること (指定避難所開設状況、避難方法など)	千種区役所(本部)	753-1811	762-5044	
	東区役所(本部)	934-1111	935-5866	
	北区役所(本部)	917-6412	914-5752	
	西区役所(本部)	521-5311	522-5069	
	中村区役所(本部)	433-2714	483-5137	
	中区役所(本部)	265-2212	261-0535	
	昭和区役所(本部)	735-3800	733-5534	
	瑞穂区役所(本部)	852-9217	851-3317	
	○災害対策（区全般）に関すること	熱田区役所(本部)	683-9411	682-1496
		中川区役所(本部)	363-4309	362-6562
		港区役所(本部)	654-9611	651-6179
		南区役所(本部)	823-9315	811-6360
		守山区役所(本部)	796-4511	794-2256
		緑区役所(本部)	625-3906	623-8191
		名東区役所(本部)	778-3014	773-7864
		天白区役所(本部)	807-3811	801-0826
○災害ごみの処理に関すること		千種環境事業所	771-0424	771-5113
		東環境事業所	723-5311	723-5320
	北環境事業所	981-0421	981-5399	
	西環境事業所	522-4126	522-8376	
	中村環境事業所	481-5391	471-5043	
	中環境事業所	251-1735	251-1736	
	昭和環境事業所	871-0504	871-0505	
	瑞穂環境事業所	882-5300	882-5305	
	熱田環境事業所	671-2200	671-2290	
	中川環境事業所	361-7638	354-4389	
	港環境事業所	382-3575	384-0562	
	南環境事業所	614-6220	614-6223	
	守山環境事業所	798-3771	798-3772	
	緑環境事業所	891-0976	891-0276	
	名東環境事業所	773-3214	773-3215	
	天白環境事業所	833-4031	833-6823	
○道路・河川・公園に関すること	千種土木事務所	781-5211	782-2974	
	東土木事務所	935-8846	937-6392	
	北土木事務所	911-8165	913-3986	
	西土木事務所	522-8381	532-6188	
	中村土木事務所	411-8106	412-5976	
	中土木事務所	261-6641	252-0742	
	昭和土木事務所	751-5128	751-5129	
	瑞穂土木事務所	831-6161	831-8710	
	熱田土木事務所	881-7017	881-7022	
	中川土木事務所	361-7581	352-5089	
	港土木事務所	661-1581	661-9154	
	南土木事務所	612-3211	614-3516	
	守山土木事務所	793-8531	792-7279	
	緑土木事務所	625-4940	625-4946	
名東土木事務所	703-1300	703-8452		
天白土木事務所	803-6644	805-1594		
○水道（水道、下水道）関係に関すること	上下水道局(部)	972-3642	972-3710	
○市バス、地下鉄などの市営交通に関すること	交通局(部)	972-3839	972-3849	
○消防活動（火災、救急、救助など）に関すること	消防局(部)	972-3593	972-3593	

※緊急通報「119番回線」の混雑・不通を避けるため、緊急以外の問合せ・要望等については上表中の「問合せ先」にご連絡いただきますようお願いいたします。

ご存じですか?いろいろな安心サービス

119番通報

聴覚や音声・言語機能等に障害のある方（障害者手帳の保有の有無は問いません。）で、名古屋市内にお住まい又は通勤、通学中の方は、以下の方法で119番通報することができます。

スマートフォン等で119番「^{ネット}Net119」

※ご利用は事前登録が必要です。

インターネット（Web）を利用したスマートフォンなどによる119番通報です。

GPS機能を有したスマートフォン、タブレット又は一部の高性能フィーチャーフォンで、電子メール送受信が可能である必要があります。（従来型の携帯電話（ガラケー）では利用できません。）

ファクシミリで119番 FAXで☎119もしくは953-4119

固定電話回線などを利用したファクシミリによる119番通報です。

電子メールで119番「メール119」

※ご利用は事前登録が必要です。

携帯電話回線などを利用した電子メールによる119番通報です。

あんしん電話…ボタン一つで119番

首からかけたペンダントや電話機能等の通報ボタンを押すだけで、緊急時に通報できます。

対象世帯

- ・65歳以上のひとり暮らし等で、次の①または②に該当する方。
 - ①高血圧・心臓病などの慢性疾患等がある方
 - ②心身に障害があり、緊急時に自力脱出が困難な方
- ・構成員全員が75歳以上の世帯の方で、他の世帯員が寝たきり状態又は寝たきりに準ずる状態にある方
- ・外出が難しく、緊急時の連絡手段の確保が困難な方で、身体障害者手帳1・2級の方のみの世帯及びこれに準ずる世帯の方

安全で安心な日常生活用具の給付

65歳以上のひとり暮らしの方などに次の用具を給付しています。

用具	給付対象者
住宅用火災警報器	・65歳以上の寝たきりの方
自動消火器	・65歳以上のひとり暮らしの方で災害時に直ちに脱出が困難な方 ・身体障害の2級以上、知的障害の重度以上又は精神障害1級の方であって、火災発生の感知及び避難が著しく困難な方（障害者のみの世帯及びこれに準ずる世帯）
電磁調理器	・65歳以上の寝たきりの方 ・65歳以上のみの世帯（ひとり暮らしを含む）の方 ・18歳以上の視覚障害の2級以上の方（視覚障害者のみの世帯及びこれに準ずる世帯）、18歳以上の知的障害の重度以上の方、又は18歳以上の精神障害1級の方

●お問い合わせ先：各区役所の福祉課（支所管内にお住まいの方は支所区民福祉課）

生活援助軽サービス（公益社団法人名古屋市シルバー人材センター）

65歳以上のひとり暮らしの方などを対象に、シルバー人材センターの会員が耐震留め具・住宅用火災警報器の取り付け、建具の簡単な修理など、軽易な日常生活上の援助を行います。

●お問い合わせ先（お住まいの区によってそれぞれ連絡先が異なります。）

東部支部（昭和・瑞穂・緑・天白区）TEL 842-4694 西部支部（北・西・中村・中区） TEL 524-2181

南部支部（熱田・中川・港・南区） TEL 671-3161 北部支部（千種・東・守山・名東区）TEL 938-3628

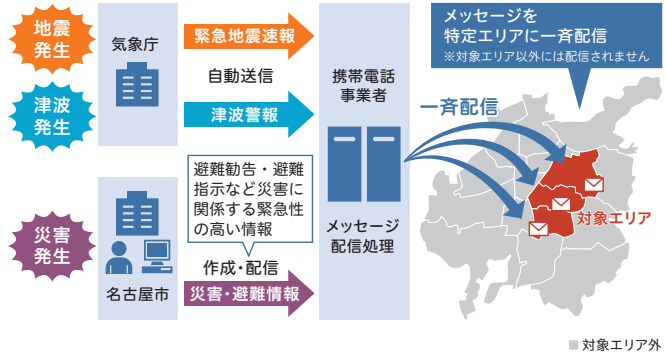
いざという時の防災情報の入手手段

緊急速報メール（エリアメール）

自動配信あり
(要事前設定)

携帯電話事業者では、気象庁から配信される緊急地震速報や津波警報とともに、地方公共団体から配信する災害・避難情報を一斉配信するサービスの提供を行っています。

(受信機能のある機種に限られますが、対応機種でも受信設定が必要な場合があります。取扱説明書または販売店にご確認ください)



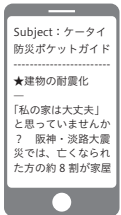
きずなネット防災情報

自動配信あり
(要事前設定)

地震・津波や大雨などにより、災害発生が予想される場合の避難に関する情報や災害時に役立つ情報をメールでお知らせします。

こんなメールをお届けします

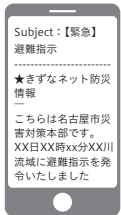
平常時 防災・減災情報



災害時の対処法や安全なくらしに役立つ情報をお届けします
●月に1回程度の配信です

【配信例】
①非常用食料について
②非常時持出品の選び方
③避難所での生活
④負傷者の救護
⑤ボランティア活動など

緊急時 災害緊急情報



「避難指示」などの避難情報や名古屋から緊急的に周知される情報をお知らせします

- 配信は24時間おこなわれます
- 情報を希望する地域を区毎に指定できます

※内容によっては、指定した区以外の情報が届く場合もあります

- 緊急速報メール(エリアメール等)ではありません

きずなネット防災情報の登録方法

登録は簡単 3 ステップ!

- 1 空メールを送信
m.saigai@cep.jp
- 2 届いたメールのURLをクリック
- 3 防災情報を選んで登録

バーコード読取でさらに簡単!



SNS [X, Facebook, LINE] / 市公式ウェブサイト

SNSで、平常時は、防災に関するイベントなどの情報や防災の普及啓発に関する情報などを、災害時は、避難に関する情報や災害発生後の生活支援に関する情報を発信しています。また、名古屋市内で災害が発生した場合には、名古屋市公式ウェブサイトのトップページにおいて様々な情報を発信しています。



X



Facebook



LINE



こちらからアクセス



X
(名古屋市防災)



Facebook
(名古屋市防災)



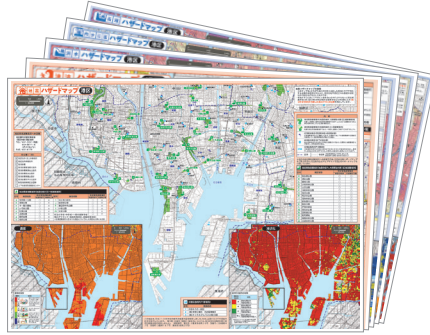
LINE
(名古屋市公式LINE)



名古屋市公式ウェブサイト

なごやハザードマップ / 名古屋市防災アプリ

名古屋市では、想定し得る最大規模の風水害（洪水、内水氾濫、高潮）や地震、津波、ため池などの災害を掲載したハザードマップを公開しています。自宅や職場、学校などの周りの災害リスクや避難所を事前に確認し、いざという時に速やかに行動できるよう備えましょう。



こちらから
アクセス



名古屋市防災アプリは、名古屋市の地震や洪水の被害想定や避難所、津波避難ビル等の情報をスマートフォンやタブレットで確認できるアプリです。

GPSと連携して現在地周辺の被害想定や避難所情報がカメラ画像に合成表示されます。

また、帰宅困難者対策として愛知県内の徒歩帰宅支援ステーション等を確認することができます。



こちらからアクセス

iPhone、iPadを
ご利用の方はこちら

アンドロイド端末を
ご利用の方はこちら



帰宅困難者支援サイト（名古屋市公式ウェブサイト）

退避施設の開設状況や、地震情報・公共交通機関情報へのリンク先をまとめています。

名古屋 帰宅困難者

検索

こちらから
アクセス



00000JAPAN（ファイブゼロジャパン）

災害時や大規模な通信障害時など、いざという時に、00000JAPANというフリー Wi-Fiが使えます。

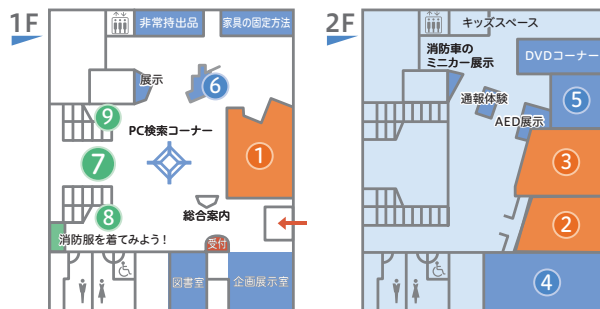
00000JAPANは、携帯キャリアに関係なく誰でも簡単に使えます。使い方は、スマートフォンのWi-Fi画面のネットワーク一覧から、00000JAPANを選んで接続するだけです。

※ファイブゼロジャパンは、「一般社団法人無線 LAN ビジネス推進連絡会（Wi-Biz）」が民間事業者、地方公共団体等と協力して実施している取組です。



名古屋市港防災センター

名古屋市港防災センターは、災害について見て、学んで、体験することで、いざという時に備え、何をすべきかを知ることができる施設です。



災害体験



①地震体験室

過去に実際に起こった震度7クラスの地震を起震装置で体験しながら、適切な初期行動を学べます。



②3Dシアター

3D映像や音響・照明等の演出により伊勢湾台風や津波などの自然災害の恐ろしさを学べます。



③煙避難体験室

火災発生状況の中で、煙の特性を理解し、的確な判断に基づく避難姿勢や避難方法が学べます。

乗りもの

消防ヘリコプター ミニ・クラシック消防車

阪神・淡路大震災の際に活躍した本物のヘリコプターや、消防職員の手作りミニ・クラシック消防車の展示。消防服を着て試乗もできます。



⑦消防ヘリコプター

⑨ミニはしご車



⑧ミニポンプ車

展示

④「伊勢湾台風を知る」コーナー

昭和34年の伊勢湾台風について、写真パネルや映像で解説しています。



⑤防災教室

昔の小学校を再現した教室。定期的に、ワークショップなどを開催しています。



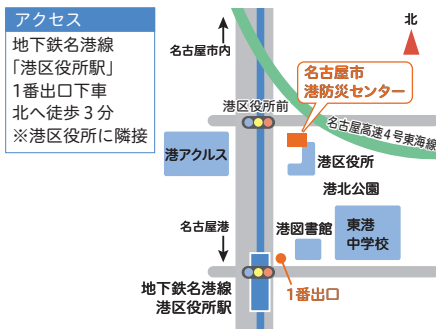
⑥「地震を知る」コーナー

地震発生のメカニズムや津波などについて学び、近い将来発生が予想される「南海トラフ巨大地震」に備えるコーナー。過去の震災の映像も閲覧できます。



●お問い合わせ先
名古屋市港防災センター
 名古屋市港区港明1-12-20
 ☎651-1100 FAX651-6220
 メール：information@minato-bousai.jp
 ホームページ：https://www.minato-bousai.jp/

●ご利用の案内
 開館時間：9:30～16:30（入場・体験無料）
 休館日：月曜日（休祝日の場合は、直後の平日）
 第3水曜日、12月29日～1月3日



名古屋市消防団について

消防団は、消防・防災活動を行う地域密着型の組織であり、その構成員である消防団員は、他に本業等（学生、主婦、自営業、会社員など）を持ちながらも「自分たちの“街”は自分たちで守る！」という郷土愛護の精神をもって参加しています。（※消防団員は非常勤特別職の地方公務員です。）

名古屋市には、原則、小学校の通学区域を管轄区域として様々な活動を行う基本消防団（267団）と、市内全域を管轄区域として特定の活動を行う機能別消防団があります。機能別消防団には、市内9つの大学の学生で構成される大学生消防団があります。

◆ 災害時の消防団活動

大規模な地震が発生すると同時多発的に火災が発生する恐れがあり、初動で消すことができないと、勢いよく広がります。大きく広がった火災は市民の命や財産を奪います。それを防ぐために、消防団員や消防職員は火災対応を最優先に活動します。多くの市民の命や生活を救うことに繋がる、非常に重要な活動です。

消防団の活動において必要な知識や技術は、消防署や消防団において身に付けることができます。特に経験など無くても問題ありませんので、ぜひ力をお貸しください。



消防団と消防隊の合同訓練

◆ 平常時の消防団活動

平常時は、災害現場での活動を想定した訓練（放水訓練や救助訓練など）や応急手当やAEDの使い方などを市民等に指導する講習会等の開催、火災予防広報、警戒警備活動などを実施しています。活動は、年間を通じて定期的に行われますので、基本的にはご自身の活動できる日に参加していただくこととなります。



市民への防火啓発



救命講習で指導する様子

◆ 消防団の報酬・福利厚生

入団資格は、原則、消防団の活動区域内に居住・勤務又は在学されている方で、18歳から65歳までの方です。現在約5,000人の消防団員が訓練や火災予防広報などに励んでいます。約600人の女性消防団員が在籍しており、広く活躍中です。非常勤の特別職地方公務員の待遇となり、年額報酬をはじめ出場報酬などが支給され、退職金制度も設けられています。

また、消防団員の福利厚生事業の一環として、飲食店や物品販売店、健康促進施設などと料金割引に関する契約を結んでいます。提携施設を利用する際に「消防団員証」を掲示することで、割引を受けることができます。

詳しくはこちら



「みんなの知らない魅力がいっぱい！」

名古屋市消防団

消防団員の活躍!

災害時の消火 救助 救急 避難誘導

消防団数は **267団**

入団資格 **18歳以上 65歳以下**

活動イメージ

訓練は午前中または午後実施
活動時間は短めです
基本的に参加できる活動に出席

毎月19日は火災予防広報の日
消防団車などで学校区の見回りなどをします!

実は報酬・福利厚生があるんです

項目	金額
年額報酬	28,500円～/年
出場報酬	4,000円/回
退団報酬	4,000円/回
退職金制度	200,000円～

学生の方には消防団活動参加金が交付され、就職活動時に企業への提示も出来ます。

他にも活動年数や内容によって、設定されています!
消防団員証の提示で、施設の割引サービスが利用可能です。

女性団員も活躍中!

1人10人が女性!!

他にも自営業・会社員・学生等様々な方が入団しています!!!

まずはお話を聞いてみませんか?

名古屋市消防局総務部 消防団課 TEL:052-972-3561

T460-8508 愛知県名古屋市中区三の丸3-1-1

急な病気やケガの時の窓口一覧

大人の場合

救急安心センター

#7119

一般回線は ☎052-951-7119

救急車を呼ぶべき?病院に行くべき?などを専門家に相談することができます。

[受付日時] 毎日 24時間

子どもの場合①

小児救急電話相談

#8000

一般回線は ☎052-962-9900

夜間や休日に子どもの調子が悪くなった場合など、どのように対処したら良いのか相談できます。

[受付日時]
毎日 午後7時～翌日8時

子どもの場合②

子どもあんしん電話相談

☎052-933-1174

夜間の子どもの急な病気などの時に、家庭での応急手当てや医療機関への受診の必要性など、看護師のアドバイスが受けられます。

[受付日時]
平日 午後8時～深夜0時
土・日・祝・年末年始(12/29～1/3) 午後6時

受診可能な医療機関はこちら

愛知県救急医療情報センター

☎052-263-1133

夜間や休日などに受診できる病院・診療所がわからない時、医療機関の情報を提供してもらえます。



▲あいち救急医療ガイド

スマホやPCで救急受診の必要性がわかります

全国版 救急受診アプリ「Q助」

急な病気やケガをした際に、家庭で適切な判断ができるよう総務省消防庁が作成したアプリです。



▲iPhone版



▲Android版



愛知県内にお住まいの方

愛知県内にお勤めの方

創立72年 安心と信頼の証 なごや市民火災共済

「ワイドな補償」「迅速な対応」で火災・水漏れなどからこれからも、ずっとあなたの大切な財産を守ります。
名古屋市、名古屋市会、名古屋市民の代表者などが設立発起人となり、昭和29年1月8日に設立され火災共済事業を開始しました。連絡所は、名古屋市内16区の消防署(本署)内にあります。

もしもの時に備えて なごや市民火災共済を!

ワイドな補償 **迅速な対応** **安心してご加入いただけます。**



火災

盗難

落雷

破裂・爆発

自動車の飛び込み

航空機の墜落



水漏れ

昭和29年創立以来
掛金の値上げは
しておりません

決算後、剰余金は
【割戻金】としてお戻しします。
令和6年度実績
割戻率20%
※必ずお約束できるものではありません。

専用住宅にお住まいの方

B構造(木造)

●例えば(B構造 専用住宅 自家 延べ面積60㎡)の場合

おすすめプラン (実損払い契約)

年額 12,800円で
月額

●建物 900万円
●動産 (家財等) 700万円の補償!



お問い合わせ・お申し込み・資料請求先

0120-533-599

●受付時間 / 平日8時45分~17時30分 ☎052-842-5335
(土日祝日・年末年始を除く)

名古屋市昭和区御器所通2-16(昭和消防署ビル6階)

かんたん・便利な

なごや火災共済

検索

インターネットでお申込み



【広告】この広告は名古屋市が推奨するものではありません。広告内容に関する質問は、広告に掲載された連絡先にお問合わせください。

HISHIGEN
since 1871



災害に備えて! 安否確認札

両面印刷で
1枚2役

オリジナル
にも対応!
(区別・学区別)

災害時

無事を知らせる
ツールとして

外側のドアノブに
かけましょう

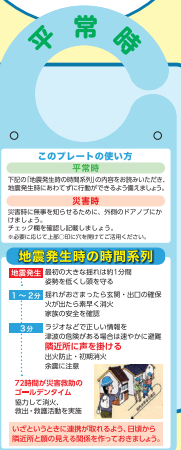
チェック欄を確認し
記載しましょう



平常時

自助力向上の
テキストとして

時間系列の内容を読んで
地震発生時にあわてず
行動ができるよう
備えましょう。



お問い合わせ

明治四年創業の印刷会社

〒490-1144 愛知県海部郡大治町西條松下75

菱源株式会社

TEL.052-444-2323 FAX.052-444-2636 <https://hishigen.co.jp>

デザインは一例です。

※この広告は名古屋市が推奨するものではありません。広告内容に関する質問は、広告に掲載された連絡先にお問合わせください。

消防・防災事業寄附金のご案内

消防、救急業務に必要な車両や資器材の購入など、総合的な消防・防災力の向上に役立ってます。

寄附を通じて
応援してください!!

名古屋市 寄附

検索

ぼちっ!



寄附の
お問合せ先

消防局総務課経理担当

電話 052-972-3506 FAX 052-972-4195

メールアドレス 00keiri@fd.city.nagoya.lg.jp

※この寄附金はふるさと納税の対象です。
詳しくはウェブサイトをご覧ください。



名古屋の 防火&防災

平成13年 3月 初版発行
令和 8年 6月 26版発行
名古屋市消防局